

古文書に記録された 1811 年の 伊豆天城山の森林状況

井出雄二*・黄バーナード永龍*・指村奈穂子*

The status of forest in the Amagi Mountains in 1811 recorded in a historical document

Yuji IDE*, Bernard YUN-LOON WONG* and Naoko SASHIMURA*

1. はじめに

日本は狭い国土に多様な森林が存在し植物種の多様性も高いため、森林生態系の保全は、生物多様性の観点から極めて重要である。一方、日本人は有史以前から森林と強く結びついた生活を営んできており、その活動は日本の森林の状態に大きな影響を及ぼしてきた (TOTMAN, 1989)。澤田ら (1995) は、秩父山地奥地のヒノキ天然林が江戸時代 (1844 年頃) に前生樹が伐採された後に再生したものであることを、現地調査と古文書資料に基づいて明らかにしている。また、OSUMI (2005) は、岩手県においてウダイカンバ林とシラカンバ林の分布を調べ、前者が天然林伐採後の林地に成立しているのに対して後者の成立地は過去に草地として利用されていた場所であるとし、20 世紀初頭の土地利用と現在の森林植生との関係を明確に示した。しかし、このように現在の森林の成立と人為の関係を直接解明した研究例は多くない。

伊豆半島中央部に連なる天城山には、およそ 2,000ha におよぶブナ林が成立しており、極めて自然度の高い地域とされる。しかし、今日、八丁池北側、万三郎岳山頂付近などでブナの衰退が進む一方、ほとんど更新が見られず、その存続が危ぶまれている (湯浅, 1989)。これまで、太平洋側ブナ林の更新は断続的で、ブナ林は不安定な存在であるとされてきた (SHIMANO, 2002)。年輪調査の結果から、現在の天城山ブナ林のほとんどは、およそ 150 ~ 200 年前に更新したと考えられる高齢のブナによって構成されており (畑ら, 2008; 渡邊ら, 2012)、そのことと符合する。一方、江戸時代、天城山一帯は幕府直轄の森林 (御林) として伊豆韮山代官所が管理し (浅井, 1977)、江戸で消費される炭の大供給地として機能していた (浅井, 1970; 砂坂, 1996)。特に、江戸時代末期には炭生産のための森林伐採が進み、伐採地は奥地化していたとされる (浅井, 1970; 1977)。このような、過去における強い人為が、現在の天城山の森林のありさまに何らかの影響を及ぼしていることは想像に難くない。現在のブナ林を構成するブナが更新した時期の森林状況を明らかにすることができれば、今後の天城山のブナ林の保全を考える上で、貴重な資料となると考える。

ところで、代々韮山代官を務めた江川家には、天城山の管理に関する膨大な文書が残されており、その中には当時の林分状況を調査した文書が存在する。本論文では、こうした文書に基づいて当時の森林の現況を明らかにし、天城山の現在の森林がどのようにして成立したのか議論する

* 東京大学大学院農学生命科学研究科生態システム学専攻
Department of Ecosystem Studies, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo

ための基盤を提供することを目的とする。

2. 調査地と史料

本論文の対象とした天城山御林は、伊豆半島の中央部に位置し面積は約4万町歩（約40,000ha）であった（浅井，1977）。現在，その中核部分は国有林（以下天城山国有林とよぶ）となっており，その面積はおよそ15,000haである（図-1）。

基本資料として，江戸時代の森林状況が記載されている「天城山御林改木数字限仕訳帳 文化八未年六月」（以下仕訳帳と略記）を用いた。また，「天城山御用留 享和三年従亥」，「文化八年未^{より}天城山御用留」，「天城山御用留年々用天保二丑年」を補足資料とした。「御用留」には，天城山の森林管理に関する様々な公文書や覚書などが綴られている。これら文書は，国文学研究資料館ホームページ（http://base5.nijl.ac.jp/~archicol/egawa_DB_index.htm）の公開資料（財団法人江川文庫所蔵）に拠った。以下，文書からの引用には，当該資料のマイクロフィルム番号（例えば享和3年御用留の1ページ目はS00580_01）を付した（表-1）。字の位置の特定には，主

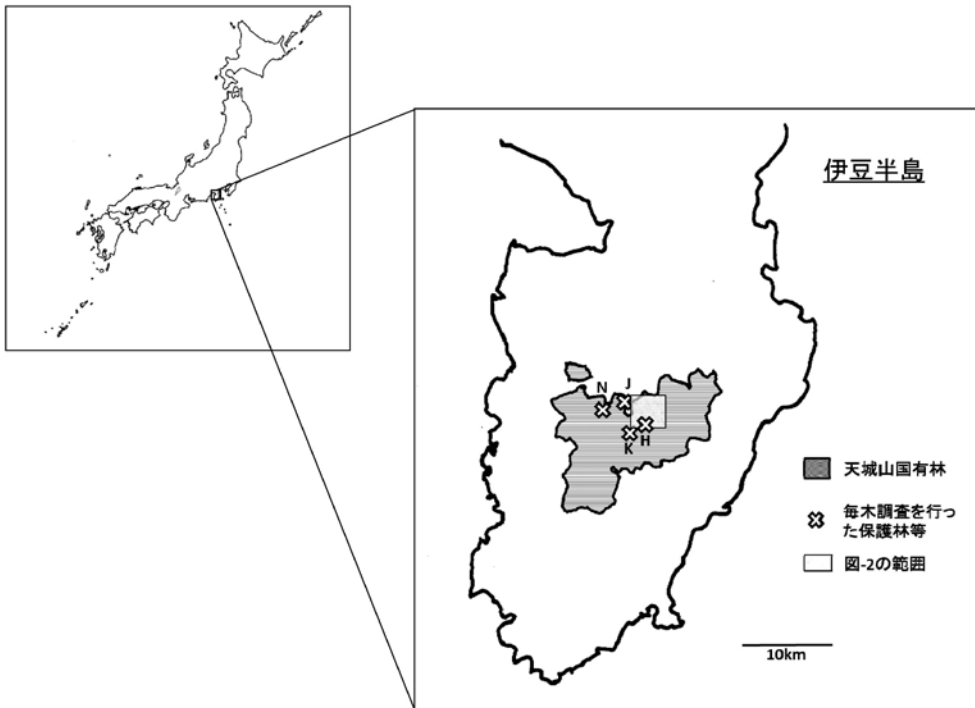


図-1 天城山国有林および調査対象地の位置

Fig. 1. Location of Amagi national forest and the study area.

表-1 本文中に引用した文書

Table 1. Historical documents cited in the main text of this paper.

表題	番号*	年代	
天城山御林帳写	S00580_005~007	不明	
天城山御館山勤方尋ニ付書上	S00580_008~010	享和 3	1803
豆州天城山御林炭焼出ニ付御尋之議申上候書付	S00580_185~194	文化 14	1817
豆州天城山御林改一件ニ付申上候書付	S00581_002~005	文化 8	1811
天城山御林改一件ニ付心当之儀書取	S00581_006~014	文化 8	1811
天城山御林改之儀字何々申所方相始・・・	S00581_015~020	文化 8	1811
豆州天城山御林改ニ付小屋取建之儀伺書	S00581_020~021	文化 8	1811
覚	S00581_022~023	文化 8	1811
天城山御林檜木炭木ニ伐採差止候御尋ニ付申上候書付	S00581_044~047	文化 11	1814
覚	S00581_107~108	文化 18	1817
申渡	S00582_065~066	弘化元	1844

* 国文学研究資料館ホームページ (http://base5.nijl.ac.jp/~archicol/egawa_DB_index.htm) の公開資料 (財団法人江川文庫所蔵) のマイクロフィルム番号, S00580: 天城山御用留享和三年従亥, S00581: 文化八年未方天城山御用留, S00582: 天城山御用留年々用天保二丑年。

に「林野庁伊豆森林計画区第 3 次国有林野施業実施計画図, 平成 18 年度樹立」(以下計画図とよぶ) を用いた。

3. 史料の位置づけ

「文化八年未方天城山御用留」には、葦山代官所の手代小川周助と飯田覚兵衛が葦山代官所に提出した、御林改の進捗状況報告書 (S00581_015) が認められる。この文書には、「仕訳帳」に記されている字や樹木の本数が記されており、その数量も一致する。このことから、「仕訳帳」は、文化 8 年に行われた御林改に伴う調査資料であると認められる。この御林改に関し、葦山代官所が江戸の勘定所に宛てた伺いや報告の文書 (S00581_002, _006, _020, _022) が存在する。すなわち、本御林改めは、勘定所の指示に従って、葦山代官所がその手代 2 名に命じて行ったものであると考えられる。本御林改めは、文化 8 年 (1811 年) 2 月に始まり、後述する 10 字^{あざ}において、一本ずつ樹種を確認し、通直部分の長さおよび目通り周を計測し、縄を巻いて調査済みの印とした (S00581_015) のもので、今日の毎木調査に相当する。

なお「仕訳帳」について所蔵館は、その作成された目的について解題を設けていないが、結論を先取りしていえば、後述のように用材の伐採可能数量の把握が主たる目的であったと考えられる (S00580_007)。また、御林改め自体は、炭焼きにともなう不法伐採の取り締まりなども兼ねていたものと思われる (S00581_006)。

近世の森林制度に関する文書を広く収集した、日本林制史資料 (農林省, 1930-1933) には、森林区画ごとに、立木の樹種、大きさなどを記録した文書がいくつか見られるものの (表-2)、それらの調査対象樹種は、ヒノキやスギ等の用材樹種やクスノキのような付加価値の高い樹種に限られ、「仕訳帳」のように、雑木を含めた網羅的調査の記録は存在しない。そうした意味で、「仕訳帳」は植生史を紐解く上で極めて貴重な史料と言える。

表-2 日本林制史資料*に見える立木数等を記した文書

Table 2. The historical documents recorded the number of trees in a area in "Nihon Rinseishi Siryo (The historiography of Japanese forest administration) *".

年号	西暦	藩	文書	記載樹種	記載項目	本数
天和 3	1683	高知	御留山改帳	ヒノキ、カシ、ツガ、 ゴヨウマツ、カヤ、 ケヤキ、ハンノキ	樹種別本 数	118,39
天和 3	1683	〃	御用山改帳	〃	〃	39,727
貞享元	1684	弘前	大和澤御立山杉檜樾改書 上	ヒノキ、サワラ、ス ギ	樹種別本 数、幹長、 周囲長	33,550
宝暦 8	1758	盛岡	五戸市川新田附御山諸木 改帳	マツ	本数、元 口径	23
寛政 6	1794	新庄	御林竝御立木之分書上帳	ケヤキ、スギ、ネズ コ、ヒノキ	樹種別本 数、幹長、 周囲長	16,000
嘉永元	1848	和歌山	楠株数相調書上帳	クスノキ	株数、幹 数、幹長、 周囲長	131 (株)

* 農林省 (1930 ~ 1933)

* Ministry of agriculture, forestry and fisheries (1930 - 1933).

4. 方法

1) 史料の判読

まず、仕訳帳を読下し、その構成および記載事項について検討した。次に、字名を他の文書および計画図中の地名と照合することによって位置を特定した。

さらに、記載されている種（以下御用留の記述に従って木品きしなとよぶ）について、主として野口（2006）に基づいて、現在の樹種名（標準和名）を特定した。一部木品では対応する情報が全くないものがあるほか、ひとつの木品に対して複数の樹種が相当するもの、一つの樹種名に対して複数の木品が相当するものなどが認められた。これらについては、天城山における現在の樹種の分布（杉本，1984）、倉田（1962；1963）による植物方言の全国的な分布、目通り直径の最大値などを参考に極力樹種名を特定した。また、特定した樹種名を用いて、字ごとの樹種別本数、直径および樹高の範囲を整理した。

2) 現在の森林状況

仕訳帳から得られた樹種構成を現在の天然林の樹種構成と比較した。比較のための林分は国有林が設定した図-1および表-3に示す4か所の保護林とした。これらの保護林の中核部分は、近年伐採の記録がほとんどない老齢の天然林である。このうち、寒天モミ群落保護林、浄蓮暖温帯性植物群落保護林、猫越暖温帯性植物群落保護林では、それぞれ2か所のコドラートを設置しコドラート調査を行った。また、八町池ブナ群落林木遺伝資源保存林については、畑ら（2008）の資料を用いた。それぞれの林分の植生を代表すると思われる地点に、0.08から1.50haのコドラートを設置し、成立している胸高直径5cm以上の樹木について、種名と胸高直径を記録した。

表-3 仕訳帳との比較に用いた保護林およびコドラートの概況

Table 3. Outlines of forest reserves and quadrats compared with the forest status in "Shiwakecho".

名称	林班	記号	標高(m)	地形	傾斜(°)	方位	斜面積(ha)
八町池ブナ群落林木遺伝 資源保存林*	181	H	1200	山腹	14	NW	1.50
寒天モミ群落保護林	635	K1	900	山腹	30	S	0.30
		K2	870	尾根	30	S	0.09
浄蓮暖温帯性植物群落保 護林	93	J1	420	山腹	25	NW	0.09
		J2	480	尾根	0~10	—	0.09
猫越暖温帯性植物群落保 護林	61	N1	460	尾根	20	NE	0.08
		N2	440	山腹	35	N	0.09

* 畑ら(2008)による。

5. 結果

1) 史料の判読

仕訳帳の構成

仕訳帳は、表紙を含め全170ページ(白紙、重複を除く)からなっている。表紙には、「狩野口天城山御林改木数字限仕訳帳文化八未年六月」(図-2)とあり、文化8年(1811年)の天城山狩野口の字ごとの樹木数を調査した文書である。

対象区域は、岩尾の内字梅ノ木沢、字木戸際、与一坂の内字小挽尾、与一坂の内字大挽尾、与一坂の内字奥野、字松山、字八町通、字上廣、字上ヶ洞、字新小屋の10字である。また、仕訳帳の最後には、以上10字の総合計が、字拾ヶ所として、字ごとの場合と同様に樹種ごとに記されている。仕訳帳記載の字の内、計画図中に対応すると思われる地名が存在したのは、字梅ノ木沢(梅ノ木沢)、字大挽尾(大引尾)、字奥野(奥野川)、字松山(松山林道、松山橋)、字上ヶ洞(上洞)、字新小屋(新小屋)の6字であった。また、木戸際については、地図上では対応する地名を見出せなかったが、住所表示によって現在も伊豆市の浄蓮の滝付近の小字名として使用されていることが伊豆市役所において確認できた。括弧内はそれぞれ対応する現在の地名である。図-3にその位置を示す。なお、小挽尾、上廣、八町通の3字については対応する地名を見出せなかった。

字ごとの記載内容は、字名、次いで成木の合計本数、内訳である(図-2)。内訳に記されているのは、先ず、楓、樅、榎、杣、松、栢、檜の大きさとその合計本数、次いで、その他の樹種についての木品別の大きさと合計本数、さらに、楓、樅、榎、杣、松、栢の小苗木の数と合計本数である。ここで、楓から檜までの木品は、当時天城山御林において別木あるいは制木と呼ばれ禁伐とされていた樹種(いわゆる留木、本稿では別木とよぶ)に含まれ(浅井, 1977)、それぞれケヤキ、モミ、ツガ、スギ、マツ(アカマツ)、カヤ、カシ類である(野口, 2006)。記載内容は、例えば図-2の字小挽尾では、楓は、長3間半から1間半のもの目通りが5尺5寸から1丈、長2間半から3間のもの目通りが3尺から1丈8尺、長1間から2間のもの目通りが1尺2寸から3尺5寸までというように、木品ごとに、木品、本数、長の最小と最大、目通りの最小と最大が、長の幅によって3階級に分類され記されている。目通りは、楓、樅、榎、

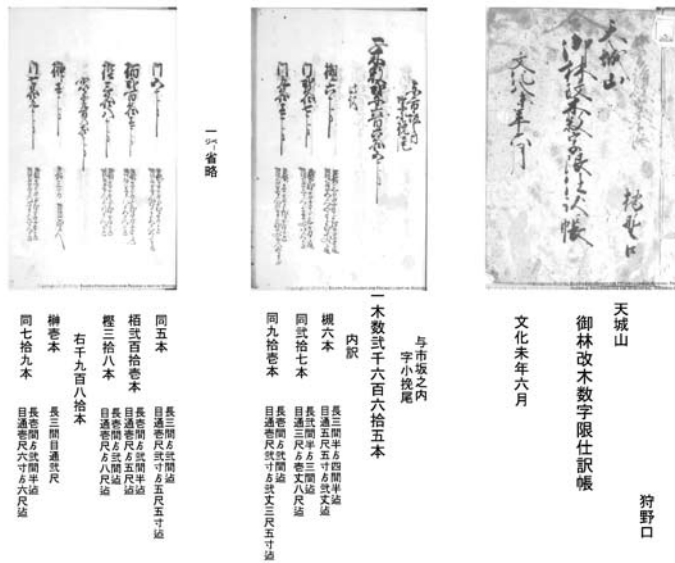


図-2 仕訳帳の表紙と内容 (一部)
S0052_001, 0013, 0015 を引用

Fig. 2. The title page and a part of the contents of "Shiwakecho".
After the documents S0052_001, 0013, 0015.



図-3 仕訳帳の字と現在の地名の対応

伊豆森林計画区第3次国有林野施業実施計画図より引用

Fig. 3. The correspondence between the area names in "Shiwakecho" with the present area names.
After the 3rd management map of Izu forest planning area.

杣, 松, 栢, 檜については 1 尺, その他樹種では 1 尺 5 寸が最小値であった。ここで長は幹の長さを, 目通りは目通り周を表す。

以上, 「仕訳帳」は, 幼木を除いて毎木調査を行い, 幹長の階級ごとに集計したものである。ただし, 別木については幼木の数も含む。また, 「仕訳帳」の全体構造は表 - 4 のように示される。

なお, 用いた史料では, 記載内容から梅ノ木沢の 4 ページ目から 6 ページ目までが脱落しているものと考えられた。読み下した仕訳帳の全内容を附表に示す。なお, 字ごとの面積に関する記載はなく不明である。

表 - 4 仕訳帳のデータ構造
Table 4. The data frame work of "Shiwakecho".

字 1						
	総本数*					
	別木	樹種 1	長級 1** 長級 2 長級 3	本数 本数 本数	長範囲 長範囲 長範囲	目通り範囲 目通り範囲 目通り範囲
		樹種 2	長級 1 長級 2 長級 3	本数 本数 本数	長範囲 長範囲 長範囲	目通り範囲 目通り範囲 目通り範囲
					
		樹種 n1	長級 1 長級 2 長級 3	本数 本数 本数	長範囲 長範囲 長範囲	目通り範囲 目通り範囲 目通り範囲
	雑木	樹種 1	長級 1 長級 2 長級 3	別木合計 本数 本数 本数	長範囲 長範囲 長範囲	目通り範囲 目通り範囲 目通り範囲
		樹種 2	長級 1 長級 2 長級 3	本数 本数 本数	長範囲 長範囲 長範囲	目通り範囲 目通り範囲 目通り範囲
					
		樹種 n2	長級 1 長級 2 長級 3	本数 本数 本数	長範囲 長範囲 長範囲	目通り範囲 目通り範囲 目通り範囲
	別木小苗木	樹種 1		雑木合計 本数		
		樹種 2		本数		
					
		樹種 n3		本数 小苗木合計		
字 2						
	総本数 (以下同様)					
					
字 10						
	総本数 (以下同様)					
字 1~10 全体						
	総本数 (以下同様)					

* 別木合計 + 雑木合計 + 別木小苗木合計,

** 長級 1:4 間半 ~ 6 間, 2:3 間 ~ 4 間, 3:1 間 ~ 2 間半

表 - 5 木品と樹種名の対応

Table 5. The correspondence between tree names in "Shiwakecho" and present standard Japanese names.

番号	読み	仕訳帳の表記 ¹⁾	樹種名の候補 ²⁾	対応させた樹種名	推定の根拠	最大直径 (cm)
1	あおうり	青瓜	テツカエデ ³⁾ ・ウリカエデ ⁴⁾ ・ウリハダカエデ ⁴⁾	ウリハダカエデ	テツカエデ、ウリカエデは天城山には少ない(杉本,1984).	125
2	あおきば	青木葉	アオキ	タブノキ	直径が24cmにもなることから、「あおき」と推定。	24
3	あおはだ	青はだ、青肌	アオハダ	アオハダ		77
4	あおばら	青灰	カラスザンショウ	カラスザンショウ		106
5	あかさば	麻沢、赤澤	アサカシ	アサカシ	個体数も多く、大径木が存在することから、「あかさの」と推定。	135
6	あかめ	赤め、赤目	アカメガシワ	アカメガシワ		39
7	あきから	悪草	ヒサカキ	ヒサカキ		48
8	あせみ	あせ実、汗味	オオバアサガラ	オオバアサガラ		77
9	あせみ	あせ実、汗味	アセビ	アセビ		58
10	あわぶき	泡吹	アワブキ ³⁾	アワブキ		31
11	いぬがき	大栴	イヌガキ ³⁾	イヌガキ		29
12	いぬざり	犬糞	イヌザリ ³⁾	イヌザリ		39
13	いぬざくら	犬桜、犬さくら	イヌザクラ ³⁾ ・ウワミズザクラ ³⁾	エドヒガン	イヌザクラ、ウワミズザクラは天城山には希(杉本 1984)。エドヒガンと混同されることが多い ⁴⁾ 。直径が大きい。	174
14	いぬもち	犬もち	クロガネモチ	クロガネモチ		77
15	いぼた	いぼた	イボタノキ	イボタノキ		25
16	うしろし	牛ころし	カマツカ	カマツカ		35
17	えのき	榎	エノキ	エノキ		87
18	かえで	楓	イタヤカエデ	イタヤカエデ		116
19	かし	檜	カシ類	カシ類		72
20	かつ	かつ(ぬるで)	ヌルデ	ヌルデ		41
21	かつら	桂	カツラ	カツラ		193
22	かむ	かむ(こがえ入)	カゴノキ	カゴノキ	カモコガサ。注釈により「こが」に統合。	19
23	かや		カヤ	カヤ		77
24	かわぐるみ	川ぐる実、川くるみ	サワグルミ ³⁾	サワグルミ		68
25	きわだ	きわだ、木わだ、木和た	キハダ	キハダ		29
26	くさぎ	くさぎ	クサギ	クサギ		24
27	くまねじ	熊ねつ、熊ねら(青はだアオハダ ³⁾ え入)	アオハダ	アオハダ		43
28	くままき	熊撫(青はだえ入)	なし	アオハダ	注釈による。	29
29	くるみ	くるみ	クルミ	クルミ		68
30	くろみ	くろみ	オニグルミ	オニグルミ		24
31	くわ	桑	ヤマグル	ヤマグル		72
32	くま	藜	アキタミ ³⁾ ・ナツグミ	ナツグミ	天城山に普通。	53
33	このき	後の木	シキミ	シキミ		24
34	こが	こが	イヌガシ、カゴノキ、シロモモ、タブノキ、ヤブニッケイ	クスノキ科常緑樹類	多くのクスノキ科常緑樹をさし、樹種を特定できない。	106
35	こはせ	こはせ	エゴノキ	エゴノキ		174
36	こぶし	こぶし	コブシ	コブシ		16
37	こめさくら	こめさくら(犬さくらえまめサクラ入)	メメザクラ	メメザクラ	注釈により「いぬざくら」に統合。	43
38	こめみづ	茶みつ(こはせ)	エゴノキ ⁴⁾	エゴノキ		29
39	かさ	柿	ササキ	ササキ		87
40	かさくら	桜	ヤマザクラ	ヤマザクラ		145
41	さるがき	さる柿、猿柿	ヤマガキ	ヤマガキ		68
42	さるがら	猿太	ヒメシヤラ	ヒメシヤラ類	ヒメシヤラ、ヒコサンヒメシヤラが分布(杉本 1984)。	145
43	さわぐり	沢栗	クスギ ⁴⁾ 、チドリノキ ⁴⁾ 、アワブキ ⁴⁾	クスギ	チドリノキ、アワブキは別出。クスギの方言名は「ぼーちよー」 ⁴⁾ 。	48
44	さわぐわ	沢桑、澤桑	フサザクラ	フサザクラ		58
45	さわしば	沢芝、澤芝	チドリノキ	チドリノキ		58
46	さわふさ	沢藨、澤ふさ	サワシバ	サワシバ	サワフサギ ⁴⁾ 、サワフタギ ⁴⁾ 。	19
47	さわふた	沢ふた、澤ふた	サワフタギ	サワフタギ		29
48	さんしよう	山耕	サンショウ	サンショウ		19
49	しい	椎	シダノキ	シダノキ		77
50	しで	しで、して	アサカシ ³⁾ ・イヌシデ	イヌシデ	「あかさば」をアサカシに対応させた。	77
51	しな	品	シナノキ ³⁾	シナノキ		121
52	しほじ	しほぢ、塩ぢ、しほじ	シオジ ³⁾	シオジ	注釈による。	96
53	しらそよ	白そよ(山芋え入)	なし	コシアブラ		48
54	しらつげ	白根、しら柗	マルバサワフタギ	マルバサワフタギ		39
55	しらうり	白瓜	マルバカエデ ⁴⁾ ・テツカエデ ⁴⁾	ホソウカエデ	ウリハダカエデ(青瓜)に対し、樹皮が白いホソウカエデと推定。	82
56	すぎ	萩	スギ	スギ		154
57	たて	たて	リンボク	リンボク		26
58	つが	梅	ツガ	ツガ		106
59	つき	楓	ケヤキ	ケヤキ		232
60	つげ	柗	ツゲ	ツゲ		16
61	つつじ	つつじ	ヤマツツジ ³⁾ 、ミツバアマギツツジ	ツツジ ³⁾	直径24cmと大きな個体が存在。	24
62	つばき	椿	ヤブツバキ	ヤブツバキ		48
63	とりあし	鳥足、とり足	ミズキ、クマノミズキ	ミズキ	倉田(1962)による。	116
64	にわたこ	庭床	ニワトコ	ニワトコ		19
65	ぬるで	ぬるで	ヌルデ ³⁾	ヌルデ		41
66	ねむ	合歡	ネムノキ	ネムノキ		29
67	はいたろう	はい太郎、はいたろう	クロハシ	クロハシ		39
68	はぐさ	はぐ草、薬草	ミズタ	ミズタ		145
69	ばら	茨	ハリギリ	ハリギリ		58
70	ひいらぎ	ひらぎ、終	ヒイラギ	ヒイラギ		77
71	びやうぶ	びやうぶ	リョウブ	リョウブ		58
72	ひんか	髷か、髷置、髷皮	イヌツゲ	イヌツゲ		46
73	おじき	おじ木、藤木	アオダモ	アオダモ		111
74	ふな	梅	フナ	フナ		193
75	ほお	柿	ホオノキ	ホオノキ		21
76	まき	楓	イヌマキ	イヌマキ		58
77	まつ	真弓	アカマツ・クロマツ	アカマツ	天城山ではアカマツが普通。	135
78	まゆみ	真弓	マユミ	マユミ		68
79	みずくさ	水草	ミズキ・クマノミズキ	クマノミズキ	倉田(1962)による。	68
80	みつ	みつ、ミつの木(かつらカエデ ⁴⁾ え入)	カツラ	カツラ		68
81	もち	もち	モチノキ・ヤマダルメ	ヤマダルメ	天城山に多く、高標名の「宇」にも出現。	39
82	もみ	糞	モミ	モミ		183
83	やつぎ	八つぎ、八観(牛ころかツカしえ入)	カマツカ	カマツカ		77
84	やまいも	山いも、山芋	なし	コシアブラ	静岡ではコシアブラ、タカノツメを「いものき」と呼ぶことから、同類の呼び名と推定。	77
85	やまならし	山ならし	ヤマナラシ	ヤマナラシ		19
86	やまもち	山桃	ヤマモモ	ヤマモモ		24
87	ゆく	ゆく	フジキ	フジキ		68
88	ゆずりは	ゆずり葉、ゆづり葉	ユズリハ	ユズリハ		58

1) () 内は仕訳帳中の注釈, 2) 注のない樹種名は野口 (2006) による伊豆、天城山の方言名に対応, 3) 野口 (2006) による伊豆以外の静岡県における方言名に対応, 4) 倉田 (1963) による静岡県以外の方言名に対応。
 1) Names in parenthesis are notes described in "Shiwakecho", 2) Names without any notes are local names at Izu or Amagi district appeared in Noguch(2006), 3) Local names in Shizuoka prefecture except for Izu and Amagi in Noguchi(2006), 4) Local names in Kurata(1963).

表 - 6 字ごとの樹種別本数

Table 6. Species and number of trees in each area.

樹種\字	梅ノ木沢	木戸懸	小挽尾	大挽尾	奥野	松山	八町通	上廣	上ヶ洞	新小屋	合計
モミ	2993	352	1473	2836	1697	3274	4414	1257	136	1506	19938
カヤ	(180)	37	211	212	285	148	636	212	69	1307	3297
ケヤキ	167	21	124	152	166	344	248	401	120	544	2287
ツガ	775	131	128	309	64	34	61	15	3	20	1540
カシ類	(131)	17	38	40	23	81	151			68	549
スギ	6		6	4	43	2	45	43		87	237
アカマツ	23	4		2	1	4					34
別木合計	(4275)	562	1980	3555	2279	3887	5555	1928	329	3532	27882
ヒメシヤブ	(154)	21	67	68	176	227	201	2102	256	661	3933
ブナ	18		30	38	101	36	217	1147	534	1067	3188
イタヤカエデ	(171)	5	106	127	228	69	346	792	318	878	3040
エゴノキ	54		14	45	250	26	180	527	68	260	1424
ミズキ	44	2	39	56	187		105	247	63	378	1121
サカキ	309	9	80	138	30	214	180	1		131	1092
イヌシデ	5		20	35	74	12	96	103	202	506	1053
クスノキ科	221	5	96	114	48	74	123	11	4	313	1009
ウリハダカエデ	54		25	37	303	13	249	73	3	188	945
ヤマザクラ	71	2	24	42	64	31	60	144	67	148	653
アカシデ	63		34	27	50	15	39	128	106	175	637
クマノミズキ	64	2	24	25	98	14	58	2	2	114	403
ヒイラギ	52	25	6	31	21	138	91	1		34	399
エドヒガン	1		11	5	14	15	15	120	30	142	338
ヤマブナキ	57	1	6	24	24	73	58	2		61	306
ホソエカエデ	2		3	4	47	1	23		8	52	261
カワツ	24	4	24	28	13	36	13	9	88	252	588
チドリノキ					12	1	8	71	50	94	236
アオダモ	1		2	5	22	2	14	51	45	93	235
リョウブ	1				4			81	41	60	187
フサザクラ	1		1	1	1		3	40	11	125	183
アセビ	2	5		12	20	2	14	36	30	55	176
カラスギンショウ	18	3	3	5	5	10	37	7	3	60	151
ヒサカキ	34	0	14	14	1	52	17			10	142
ホオノキ	5		8	3	9	6	11	13	24	31	110
オオバアサガラ	1	1	7	6	15	1	5	25	4	40	105
スダジイ	61	9	1			10	11			1	93
アオハダ					3		5	17	16	33	74
マユミ					4		2	39	4	9	58
ユズリハ	18		13	20		5				1	57
ヤマガキ	13	6	8	7	6	8	2		4	54	151
タンナサワフタギ					6			37	6	5	54
クリ	5	1	1	2	4	13	2		16	3	47
ヌルデ	2		1	9	11		9			14	46
クスギ				1					32	6	39
ミズメ								22	3	10	35
サワグルミ					3		1	1	16	13	34
コシアブラ	3		2	3		2		7	8	8	33
ヤマグワ	5		7	2	1	1	7	1		8	32
アカマダシワ	10	1	2	4	1	2	2		1	8	31
アワブキ								2	3	17	22
エノキ	2	2	2	1	3		4	3		4	21
シナノキ	1			1					14	4	20
フジキ			2		3	3	1			10	19
クロバイ	11	1				3					15
キハダ					1	1	2	2	1	7	14
シオジ					6	3	1	1		2	13
イヌツグ	1				1	1	1	8			12
クサギ					1	1	5			4	10
ヤマツツジ									1	9	10
イヌガヤ		1			3		1			4	9
ヤマグルマ								1	2	6	9
サワフタギ					2			1		5	8
ネム	1					2				5	8
イヌマキ	6										6
イイギリ	2		1			1	1				5
ハリギリ						2		1	2		5
カマツカ				1		2				1	5
ナツグミ					1	4		1			5
リンボク		3				1					4
オニグルミ									1	2	3
ヤマナラシ				2	1						3
ヤマモモ						1	1				3
クロガサモチ	1	1									2
イボタノキ								2			2
サンショウ					1						2
ニワトコ										2	2
タブ			1								1
シキミ				1							1
コブシ						1					1
サワシバ					1						1
ツグ							1				1
その他合計	1569	111	685	944	1880	1119	2222	6005	2003	5970	22508
全体	5844	673	2665	4499	4159	5006	7777	7933	2332	9502	50390

() 内は全体の合計からの推定値

Numbers in parenthesis are estimated from the total number recorded in "Shiwakecho".

表 - 7 字ごとの別木小苗本数

Table 7. Species and number of saplings of prohibited species from cutting.

	梅ノ木沢	木戸懸	小挽尾	大挽尾	奥野	松山	八町通	上廣	上ヶ洞	新小屋	合計
ケヤキ	53	5	21	9	20	16	43	8	0	1572	1747
ツガ	2182	589	319	305	84	18	54	3	0	7	3561
モミ	5502	508	2108	4157	1854	3088	6872	1588	38	5501	31216
スギ	7	0	0	2	43	5	56	41	53	199	406
マツ	19	1	5	0	0	1	1	0	0	0	27
カヤ	244	80	126	137	230	181	478	143	0	2200	3819
カシ	33	53	23	5	9	152	335	0	0	254	864
合計	8040	1236	2602	4615	2240	3461	7839	1783	91	9733	41640

表-8 プロット調査における樹種別本数割合(仕訳帳基準)*
 Table 8. Species composition by stem number in the study plots.*

樹種\コドラート	H	K1	K2	J1	J2	N1	N2
モミ		7.5	6.2	1.6	12.8		
アカマツ				2.3			
ツグキ			1		1.1		3.7
ヒノキ	14						
スギ				0.8			
アスナロ	0.2						
イヌガヤ		3					
カヤ	0.1	0.4	7.2	0.8			
シキミ		47.9	30.9	13.3	0.6	1.1	
ホオノキ	2.4	0.7					
ヤブニッケイ				2.3		1.1	
アブラチャン	11.4	2.6					
カゴノキ				1.6			
タブノキ				10.9	1.1	8.4	3.7
イヌガシ				2.3	1.7	9.6	28
アワブキ		0.4					
ヤマグルマ	0.1						
ユズリハ				0.8			
マムシクサ	4.9	1.1					
ヤマザクラ				0.8	2.8	1.7	
ウワミズザクラ				0.8			
カマツカ	3.6	0.7					
ケヤキ		0.4	5.2	0.8			1.2
ムクノキ							1.2
スダジイ				5.5	0.6	1.1	1.2
フナ	15.6	0.7					
アカガシ				4.7		0.6	1.2
ウツシロガシ		0.7	8.2	6.3	0.6	10.1	15.9
アラカシ	0			0.8	0.6		
コナラ				0.8	9.5		1.2
ミズメ	0.2	0.4			0.6	3.4	
クマシデ	0.1		9.3	0.8			
アカシデ		0.4	1	0.8		0.6	
イヌシデ	6.7	10.9		1.6	1.1	0.6	
マユミ			1				
オオモミジ	3.4	8.2	18.6	0.8			
カシカエデ	0.1						
イタヤカエデ		0.4		2.3	4.5		
イロハカエデ				1.6	1.1		
ウリハダカエデ	0.2						
キハダ	0.5						
シナノキ	0.4		2.1				
ミズキ		1.1	1				
クマツミズキ		0.4					
サカキ				0.8	11.2	25.3	24.4
ヒサカキ				30.5	24.6	12.9	4.9
ヤブツバキ		3		1.6	15.1	23.6	12.2
ヒメシャラ	12.2	6.4	1		2.2		
ヒコサンヒメシャラ	1.3						
ラ							
タンナサワフタギ	13	0.4					
エゴノキ	2.8						
リョウブ	1.1						
アセビ	2.3			1.6	7.3		
アマギツツジ		1.5	2.1				
ヤマツツジ			4.1		0.6		
アオダモ	0.6	0.4					
イボタノキ	0.2						
ヒイラギ		0.4	1		0.6		
ムラサキシキブ	0.1						
ヤブムラサキ				0.8			
アオハダ	0.8						
コシアブラ	0.8						
ハリギリ	0.6						1.2
ha あたり本数	325	347	478	600	944	623	300

* 胸高直径の基準は仕訳帳に従って、別木>目通り1尺(直径9.65cm)、その他>1.5尺(直径14.4cm)とした。コドラートの記号は表-3による。

* Trees over 9.65 cm for prohibited species from cutting and over 14.4 cm for normal species were counted. The codes of quadrats were same in Table 3.

樹種および字ごとの林分状況

仕訳帳には88の木品が記されていた。表-5に木品とそれぞれに対応する樹種名(標準和名)の候補および特定した樹種名,目通り直径の最大値を掲げる。木品によっては、「かつ(ぬるで)」、「こめみつ(こはぜ)」のように、木品の右肩に異名と思われる注釈が付されている場合があり、樹種名の特定にあたってはこれも参考にした。1種に対して複数の木品があてはまる場合や属単位でしか対応が確認できない木品が存在し、最終的に77種,3グループに対応させた。

表-6に字ごとの樹種別の本数を集計して示す。ここで、史料の脱落が推定された字梅ノ木

沢については、仕訳帳の最後に記載された合計本数（字拾ヶ所）から計算によって脱落ページに記載されていたと推定される本品と本数を補った。また、表-7に字別の小苗木数を示す。

現在の植生

仕訳帳の構成において述べたように、仕訳帳の調査基準は、別木については目通り1尺（30.30cm、直径9.65cm）以上、その他の樹種については目通り1尺5寸（45.45cm、直径14.47cm）以上となっていた。そこで、仕訳帳との比較のためコドラート調査の結果から、同じ直径範囲の個体（以下仕訳帳基準という）を抽出してその本数割合を表-8に示した。なお、目通り高は胸高とほぼ一致するものとした。調査地における出現樹種数は63種、仕訳帳基準の立木密度は平均522本/ha（最小300本/ha、最大944本/ha）であった。

6. 考察

御林改の目的

本仕訳帳には御林改そのものの目的は記されていない。しかし、S00580_007には、宝暦11年（1761年）に行われた御林改の記事として、「木数本品相改候上御用木切出被仰付」とあることから、今回の御林改も用材の伐出可能数量を把握するために行われたものと考えられる。実際、仕訳帳には樹種ごとに長によって3区分されて目通りが記されている。これを見ると、丈の長いものが必ずしも太いわけではなく、例えば、梅ノ木沢の槻では、最大目通りは、長が1.0～2.0間のものが1丈5尺、2.5～3.0間のものが1丈8尺5寸、3.5～6.0間のものが1丈であった。こうした記載方法から、長は樹高を表すのではなく幹の通直部分の長さを表していると考えられ、御林改が木材としての利用可能量の調査であることが推察される。

仕訳帳の対象地域

上に述べたように、仕訳帳の対象は狩野口の字である。江戸時代、天城山は、湯ヶ島口、仁科口、大見口、河津口の4口に分けて管理されていた（浅井、1977、S00580_005～006）。口とは流域を意味し、それぞれ現在の狩野川、仁科川、大見川、河津川の流域を指す。湯ヶ島口は狩野口（S00580_005）とも呼ばれS00580_188～189には、持越入、猫越入、本谷入、与一坂入、たんの入、岩尾入の6入が記されている。「入」は小流域を指し、それぞれ現在の持越川、猫越川、狩野川本谷、与一坂川、長野川、岩尾川に対応すると考えられる。仕訳帳の御林改の対象地は、仕訳帳の字名と現在の地名との対応から、狩野口のうち岩尾入、与一坂入、たんの入に属する地域でかつ狩野川本谷および岩尾川と長野川それに天城山稜線に挟まれた範囲と考えられる。その面積については、閲覧した他の江川家文書にも記載がなく不明であるが、字の分布から最も少なく見積もった場合でも、図-3中に三角形で示す約500haと推定された。

植生の概況

仕訳帳の対象地を含む天城山中央部における植生類型として、鈴木・蜂谷（1951）はウラジロガシ・サカキ群集、モミ・シキミ群集、ブナ・スズタケ群集を認めており、それぞれの分布標高域は、およそ600m以下、600～900m、900m以上である。それぞれを特徴づける種として、ウラジロガシ・サカキ群集ではタブノキ、スダジイ、サカキ、ヒサカキ、ヤブツバキ、カゴノキが、モミ・シキミ群集ではモミとシキミが、ブナ・スズタケ群集では、ブナやタンナ

サワフタギがあげられる。このうちモミ - シキミ群集について、鈴木 (1961) は、中間温帯と呼んだ。仕訳帳には、カシ類やクスノキ科常緑樹などの暖温帯の要素、ブナやタンナサワフタギのような冷温帯の要素、また、モミやシキミなど中間温帯の要素が出現している。さらに、ツガのように急峻な地形を好む樹種やケヤキ、チドリノキ、シオジ、サワグルミ、フサザクラなど沢筋を好む樹種など、幅広い地形に対応した樹種が認められる (表-6)。また、字ごとにもそれぞれ樹種構成に特徴が認められる (図-4)。梅ノ木沢から八町通までの7字では、モミを中心に針葉樹の占める割合が50~78%と極めて高い。また、これらの字では常緑広葉樹も10%程度を占めており、暖温帯、中間温帯の特徴を示す。一方、上広、上ヶ洞、新小屋では、ブナを含む落葉樹が62~89%と圧倒的に多く、モミなど他針葉樹の占める割合は低いことから、冷温帯林の樹種構成といえる。こうした特徴から、仕訳帳の記載の字は600m以下から900m以上に及ぶ幅広い標高域を含みまた様々な地形を含むと推定され、このことは字の特定結果 (図-3)とも合致する。

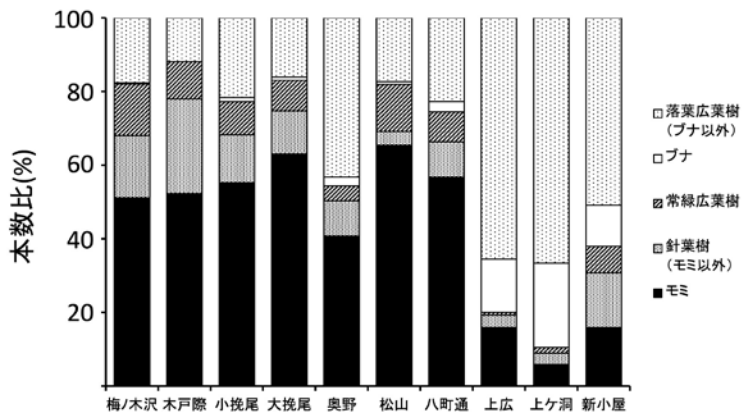


図-4 字ごとの樹種構成の概要

Fig. 4. Composition of tree species of each area in brief.

林分の状況

仕訳帳には字ごとの面積の記載がなく、立木密度を算出することができない。別木とその他樹種では、調査木の直径範囲が異なるが、それを無視した場合、全体の立木本数は50,390本である。前述の「仕訳帳の対象地域」において字の分布から、対象地の面積をおよそ500haと推定したので、その場合の立木密度は101本/haとなる。しかし、これは面積を最も小さく見積もった場合であるので、実際の立木密度はさらに低かったものと考えられる。植生調査の結果から仕訳帳基準により算出した現在の天然林の立木密度は、最小はHの325本/ha、最大はJ2の944本/ha、平均527本/haであった (表-8)。このことから、仕訳帳における立木密度は、今日の高齢ブナ林よりもはるかに疎な状況にあったと判断される。豆州誌稿 (秋山, 1800) には、18世紀末の天城山の状況として、「近き頃焼きて炭と為す是を以て林樹殊に肅索たり」(土産 材の項)、「凡炭を焼には大小良悪を択ばず一概に斬伐す是故に山皆荒て将秃」(土産 炭の項)とあり、立木がかなり減少していたことが繰り返し記されている。このことから101本/ha以下という値は、当時の実態を表しているものと考えられる。

一方で、仕訳帳全体をみると、最大目通りが1丈 (目通り直径96.5cm) 以上であった樹種は

22種を数え、2丈(同193cm)をこえる個体も存在したことから、全体に大径木が多くを占めていたものと推定される。図-5にコドラート調査から得られた現在の最大直径個体と、仕訳帳の最大直径個体を樹種ごとにプロットした。これから、大部分の樹種において現在よりも直径の大きな個体が存在したことが明らかである。

天城山御林では、目通り4寸～1尺5寸の雑木は炭焼きの対象とされていた(S00581_006)。「大小良悪を扱はず」(秋山, 1800)とはいっても、基本的には、このサイズの雑木が炭焼きのため伐採されており、結果として、仕訳帳の調査対象となった目通り級へ進界してくる個体はほとんどなかったものと考えられる。また、自然枯損により本数は減少してゆく傾向にあったと推察される。加えて、仕訳帳と同年の文化8年(1811年)には、雑木の1尺5寸以上でも、ご用材にならないものは炭焼きに供されており(S00581_007)、文化14年(1817年)には新小屋や小引(=木挽尾)では過度の炭焼きによって小径木がほとんど存在しない状況になっていた(S00580_189)。また、文政元年(1818年)には、炭焼きを請負った者から、松山には炭焼きに供せる雑木がほとんどないので場所替えをしてほしいとの要望も出されている(S00581_107～108)。さらに、弘化元年(1844年)には、シヤヒメシヤラの大木(目通り3尺以上、浅井, 1977)までも炭焼きのため伐採を許可している(S00582_065～066)。これらのことから、小径木の枯渇は相当に進んでいたと考えられ、当時の林相は、少数の大径木が散在し、小径木がほとんどみられず、結果として「山皆荒て将秃」(秋山, 1800)というような状況にあったものと推察する。

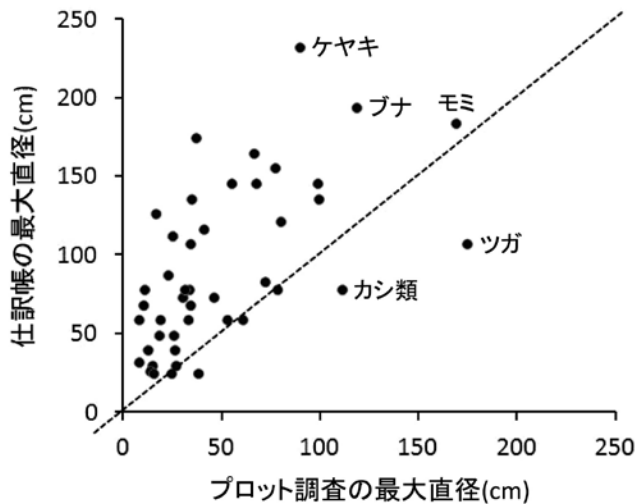


図-5 プロット調査と仕訳帳における樹種ごとの最大直径個体の比較
各点はそれぞれ異なる樹種を示す

Fig. 5. Comparison of individuals with maximum diameter of species between present plot survey and "Shiwakecho".

Each dot shows different species.

別木稚樹の更新

天城山御林では、別木については目通り1尺廻り以下を小苗木と呼んだ（浅井，1977）。小苗木は仕訳帳全体で41,640本が記録されているにすぎず（表-7）、先の推定面積からすると83本/haとなりかなり少ない。小苗木のほとんどはモミであるが、梅ノ木沢ではツガが、新小屋ではカヤが比較的多く認められる。これは植生の概況で触れたとおり、地形的な多様性に基づくものと考えられる。別木は稚樹であっても保護されたが、稚樹の更新は母樹の存在と更新に適した環境を必要とするので、御林のどの場所でもすべての別木樹種が盛んに更新していたわけではなかったと考えられる。天城山御林では「御礼杉」と呼ばれる地元住民の御林利用に対しての造林や炭焼き請負人に対する冥加植栽を義務付けていた（浅井，1977）が、背景にはこうした小苗木の不足があったものと思われる。

モミの稚樹が多いことについては、林分の状況で示した通り対象地域全体に立木密度の低い状態にあり、全体に常緑広葉樹の本数が少なく他種との競合が少なかったこと、さらに別木として保護されたことなど、当時の疎な森林状態が、明るい環境を好む本種（蒲谷，1975）の更新に有利に働いたと考えられる。モミ、ツガは、天城山御林では最後に別木に指定された樹種であり、延宝7年（1679年）に目通り1尺から3尺の小木が禁伐とされたが、宝暦7年（1756年）までは目通り3尺以上の大木について住民の利用が許されていた（浅井，1977）。モミ、ツガは、成長が早いこともあって急速に優占したものと考えられる。この資源は、江戸時代を通じて維持され、明治17年（1884年）から大正6年（1917年）までの間、大倉組によって伐採された（伊豆学研究会，2011）。現在、天城山に残る大規模なモミ林は、皮子沢モミ群落保護林と寒天モミ群落保護林の二か所のみであり、これらは高齢化により衰退傾向にある。WONG・井出（2004）は、モミの成長解析の結果、天城山の大規模なモミ林は、江戸時代における炭焼きによる競合樹木の排除と別木の保護によって成立したものとしたが、仕訳帳の樹種構成からもそのことが確認できた。

その他樹種構成上の特徴

仕訳帳中の40%の上木がモミであった。この地域のモミ林を特徴づける低木としてシキミが挙げられる（鈴木・蜂谷，1951）。コドラート調査においてもK1、K2でそれぞれ47.9%、30.9%と高い頻度で出現した（表-8）。しかし、仕訳帳中シキミは1本しか出現していない。これは、江戸時代シキミは^{まっとう}抹香の原料として利用され、伊豆はその産地であった（秋山，1800）ことによると考えられる。S00580_009に3月下旬から7月上旬に御林近隣の村の者が御林内で採取しているとあり、こうしたことから、シキミは低木状態で維持され目通り1尺5寸以上になるものはまれであったと推察される。

さらに、対象地が比較的標高の低い暖温帯を相当面積含むと考えられるにもかかわらず、別木中カシ類の本数は比較的少ない。また、カシ類の最大目通りは6尺5寸（直径63cm）であり、現在の保護林におけるカシ類の最大直径112cmよりもかなり小さい。カシ類は、天和3年（1683年）に別木に指定されたていた（浅井，1977）。しかし、それ以降も小径木は炭材としての利用が許されており、完全に伐採が禁止されたのは文化10年（1810年）である（S00581_044～047）。カシ類は、伐採禁止以前、良質の炭材として多く利用された他、車輪の材料などとしても重用されており（S00580_008～010）、資源の枯渇は相当に進んでいたものと考えられる。

ブナは、現在の天城山では小径のものはわずかであり、高齢化が著しい（渡邊ら，2012）。と

ところが、仕訳帳中には今日よりはるかに太い目通り 1 丈 9 尺（直径 1.93m）もの大径木が存在する一方で、目通り 1 尺 5 寸（直径 14.5cm）と細いものも認められ、若齢のブナの存在が推定される。太平洋側ブナ林は、更新が断続的でササの存在下での更新が難しいとされる（SHIMANO, 2002）が、仕訳帳の時代には、更新が起っていた可能性がある。ブナは、別木ではなかったが、S00581_007 には「実ニ不御用立雑木者除尺之木品ニテモ見計為伐採其外下枝伐透等モ可致旨且榊之儀者大木ニ相成候得者保不出来立枯朽倒候ニ付炭木ニ可伐採旨申渡有之」（ご用材にならない雑木は目通り 1 尺 5 寸以上であっても見計らって伐採させ、その他下枝なども抜切りするように、ただブナは大木になるので保護し、立枯木や朽倒木などを伐採するように申し渡した）とある。直径の大きな他の雑木が伐採を認められていた中、ブナについては伐採を規制する方向にあったと考えられる。また、秋山（1800）は、八丁池周辺の様子について「近世この竹実を結び今は枯れてなし」（池塘 ^{あおすず}青薏池の項）とあり、18 世紀末にはササの一斉枯損も起こっていた。このように、この時期には、比較的疎な林相下、炭焼きによる他樹種の小径木の伐採や地表攪乱、ササの枯損などにより、ブナが更新しやすい環境が存在したと考えられる。こうした状況下、ブナの伐採規制もあって、ブナの更新が可能であったと推察できる。現在、天城山でみられるブナの年齢は 150 年以上のものが最も多く（渡邊ら, 2012）、仕訳帳の時期に更新したものが相当数含まれると考えられることから、現在のブナ林の更新に人為が大きく影響していたと言える。

結 論

1811 年ごろの天城山の森林は、炭焼きが奥地化して薪炭原料としての小径木の枯渇が進行していた（浅井, 1977）。しかし、薪炭材としての利用を許されない大径の樹木は、種を問わず保護され、立木密度は非常に低いものの大枠において今日暖温帯から冷温帯に至る地域で認められる群集構造を呈していたものと推定された。仕訳帳の対象地域の高標高域を除いた大部分は、今日、スギ、ヒノキの人工林となっており、自然植生はほとんど見られない。しかし、仕訳帳の時期に当該地域は、全体に疎な林相であったにもかかわらず多様な樹木種が存在し、その多様性は比較的高い状態に保たれていた。さらに、こうした江戸時代の利用と管理の在り方は、今日まで残存している高齢モミ林や稜線上に広く分布するブナ林の成立に、深くかかわっていたと考えられる。

謝 辞

本研究の一部は、財団法人新技術開発財団平成 22 年度植物研究助成によった。樹木方言については静岡県在住の野口英昭氏に種々ご教示いただいた。また、現地調査にあたっては、東京大学大学院農学生命科学研究科森圏管理学研究室のメンバーの協力を仰いだ。厚く感謝する。

要 旨

江戸時代中期以降伊豆韮山代官であった江川家に伝わる文書の内、「天城山御林改木数字限仕訳帳」を読み解き、1811 年における天城山の森林の状態を考察した。仕訳帳の調査範囲は暖温帯から冷温帯までの広い範囲を含んでいた。また、仕訳帳には調査面積に関する記述はなかったが、仕訳帳の地名と現在の地名との対応から、その範囲は少なく見積もった場合でも 500ha 程度であることを示した。樹種構成は、今日の天城山の天然林とほとんど変わらなかったが、立木密度は 100 本/ha 以下で今日の天然林の平均 500 本/ha と比べると大変疎であり、大径木が優占

した林相であったと推定された。これは、目通り直径 14.5cm 以下の雑木を継続的に炭焼きに供したため、より上の径級へ進界できる雑木が存在しなかったことに起因すると考察した。疎な林床ではモミ稚樹の更新が卓越し、さらに別木としての保護が加わり、モミ林の形成がうながされた。また、同様なことがブナでも起こった可能性がある。このような人為によって誘導された森林状態が、今日残存する天城山の天然林の成立に深くかかわっていたものと考えられた。

キーワード：江戸時代、人為、炭焼き、天然林、更新

引用文献

- 秋山富南 (1800) 豆州志稿。(高橋廣明監修 (2003) 豆州志稿復刻版. 388pp., 羽衣出版, 静岡.)
 浅井潤子 (1970) 幕府御林山における林業生産 - 伊豆天城御用炭年季請負製炭について -. 史料館研究紀要 [文部省史料館] 3:89-142.
 浅井潤子 (1977) 御林山における幕府林業政策 - 伊豆天城山御林山について -. 日本歴史 351:1-18.
 畑 尚子・内山憲太郎・井出雄二 (2008) 伊豆天城山ブナ・ヒメシヤラ林における樹木の空間構造. 第 55 回日本生態学会大会要旨集 P2-075.
 伊豆学研究会 (2011) 伊豆大辞典. 1207pp., 羽衣出版, 静岡.
 蒲谷 肇 (1975) 房総丘陵の植生に関する生態学的研究 1. モミーツガ天然林の分布と構造. 東大演報 67:51-62.
 倉田 悟 (1962) 樹木と方言. 150pp., 地球出版, 東京.
 倉田 悟 (1963) 日本主要樹木名方言集. 291pp., 地球出版, 東京.
 野口英明 (2006) 静岡県草と木の方言. 358pp., 静岡新聞社, 静岡.
 農林省 (1930) 日本林制史資料 新庄藩. 90-94, 朝陽会, 東京.
 農林省 (1931) 日本林制史資料 和歌山藩. 483-513, 朝陽会, 東京.
 農林省 (1932) 日本林制史資料 弘前藩. 57-58, 朝陽会, 東京.
 農林省 (1932) 日本林制史資料 盛岡藩. 179-182, 朝陽会, 東京.
 農林省 (1933) 日本林制史資料 高知藩. 192-248, 朝陽会, 東京.
 OSUMI, K. (2005) Reciprocal distribution of two congeneric trees, *Betula platyphylla* var. *japonica* and *Betula maximowicziana*, in a landscape dominated by anthropogenic disturbances in north-eastern Japan. *Journal of Biogeography* 32, 2057-2068.
 澤田晴雄・梶 幹男・五十嵐勇治・大村和也 (1995) 秩父地方山地帯天然林の更新に関する基礎的研究 3 - 約 145 年前に生じた人為的攪乱がヒノキ林の更新に与えた影響 -. 東大演報 93:21-40.
 SHIMANO, K. (2002) Regeneration dynamics, causal factors, and characteristics of Pacific Ocean-type beech (*Fagus crenata*) forests in Japan: a review. *Folia Geobotanica* 37:275-296.
 杉本順一 (1984) 静岡県植物誌. 814pp., 第一法規出版, 東京.
 砂坂元幸 (1996) 幕府御林における森林開発 - 天城山御用炭生産の展開 -. 筑波大演報 12:1-29.
 鈴木時夫 (1961) 日本の森林帯前論 - 現在の世界的視野から -. 地理 6 (9) :22-29.
 鈴木時夫・蜂屋 欣二 (1951) 伊豆半島の森林植生. 東大演報 39:145-169.
 TOTMAN, C. (1989) The green archipelago: forestry in preindustrial Japan. 297pp., Univ. California Press, Berkeley (熊崎実訳 コンラット・タットマン (1998) 日本人はどのように森を作ってきたのか. 200pp., 築地書館, 東京.)
 渡邊邦宏・齊藤陽子・指村奈穂子・井出雄二 (2012) 伊豆天城山ブナ林の林相と齡構造. 第 123 回日本森林学会大会要旨集 pa053.
 WONG Bernard・井出雄二 (2004) 伊豆・丹沢におけるモミ林の成立史. 第 115 回日林学術講 443.
 湯浅保雄 (1989) 天城山系におけるブナ林の衰退に関する生態学的研究. 天城山系のツツジ類とブナの保護 - 天城山系におけるアマギツツジ等の衰退の原因究明及び保全対策の検討調査報告書 :9-29, 静岡大学環境研究会, 静岡.

(2012 年 4 月 12 日受付)

(2012 年 7 月 18 日受理)

附表 仕訳帳解読結果
Appendix Analyzed data of "Shiwakecho".

岩尾の内

字梅ノ木沢

木数 5844 本

(別木)

木品	サイズと本数		合計
楓 長(間)	<u>1.0-2.0</u>	<u>2.5-3.0</u>	<u>3.5-6.0</u>
目通(尺)	<u>1.0-15.0</u>	<u>2.5-18.5</u>	<u>4.5-10.0</u>
本数	115	38	14
母	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	<u>5</u>
	<u>1.0-10.0</u>	<u>2.0-11.0</u>	<u>6.5-9.0</u>
	650	123	2
縦	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	<u>4.5-6.0</u>
	<u>1.0-16.0</u>	<u>2.0-15.0</u>	<u>6.0-14.0</u>
	2521	436	36
杣	<u>1.0-2.0</u>	<u>3</u>	<u>5</u>
	<u>1.5-3.0</u>	<u>2.5</u>	<u>6.2</u>
	4	1	1
松	<u>1.0-2.0</u>	<u>3</u>	
	<u>1.5-4.0</u>	<u>14.0</u>	
	22	1	23
欠落ページ			
(雑木)			
木品	サイズと本数		合計
欠落ページ			
さくら	<u>1.0-2.0</u>	<u>3</u>	
	<u>1.7-11.0</u>	<u>4.0-9.0</u>	
	69	2	71
榊	<u>1.0-2.5</u>	<u>3</u>	
	<u>1.6-5.0</u>	<u>2.8-3.2</u>	
	307	2	309
こが	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-3.5</u>	
	<u>1.6-11.0</u>	<u>2.5-10.0</u>	
	216	5	221
鳥足	<u>1.0-2.5</u>	<u>3</u>	
	<u>1.7-4.5</u>	<u>2.5-3.0</u>	
	41	3	44
こはぜ	<u>1.0-2.0</u>	<u>3</u>	
	<u>1.6-4.5</u>	<u>1.8</u>	
	50	1	51
桂	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0-4.0</u>	<u>5</u>
	<u>1.7-7.5</u>	<u>2.5-12.0</u>	<u>10.0</u>
	16	7	1
赤沢	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	
	<u>1.7-8.0</u>	<u>6.0-10.0</u>	
	59	4	63
水草	<u>1.0-2.0</u>	<u>3</u>	
	<u>1.6-4.5</u>	<u>3.2</u>	
	63	1	64
ひらき	<u>1.0-2.0</u>		
	<u>2.0-5.5</u>		
	52		52
椎	<u>1.0-2.5</u>	<u>3</u>	
	<u>1.8-8.0</u>	<u>4.5</u>	
	60	1	61

木品	サイズと本数	合計
青瓜	<u>1.0-2.5</u>	
	<u>1.6-4.0</u>	
	54	54
椿	<u>1.0-2.0</u>	
	<u>1.8-4.5</u>	
	57	57
悪芝	<u>1.0-2.0</u>	
	<u>1.7-3.0</u>	
	34	34
白瓜	<u>1.5</u>	
	<u>2.0-5.0</u>	
	2	2
しで	<u>1.0-1.5</u>	
	<u>2.0-3.0</u>	
	5	5
桑	<u>1.0-1.5</u>	
	<u>2.0-3.5</u>	
	5	5
犬桜	<u>1.5</u>	
	<u>2.5</u>	
	1	1
沢桑	<u>1.5</u>	
	<u>2</u>	
	1	1
麻から	<u>1</u>	
	<u>3</u>	
	1	1
びやうふ	<u>1</u>	
	<u>2.5</u>	
	1	1
青茨	<u>1.0-2.0</u>	
	<u>1.7-3.0</u>	
	18	18
ふじ木	<u>2</u>	
	<u>4.5</u>	
	1	1
赤め	<u>1.0-2.0</u>	
	<u>1.8-3.5</u>	
	10	10
槇	<u>1.0-1.5</u>	
	<u>1.7-2.2</u>	
	6	6
朴	<u>2.0-2.5</u>	
	<u>2.0-2.5</u>	
	5	5
さる柿	<u>1.0-2.0</u>	
	<u>1.8-7.0</u>	
	13	13
ゆつり葉	<u>1.0-2.0</u>	
	<u>1.8-6.0</u>	
	18	18
榎	<u>1.5-2.5</u>	
	<u>2.5-4.0</u>	
	2	2

(つづく)

梅ノ木沢(雑木つづき)

木品	サイズと本数		合計
しな	<u>1</u> <u>2</u> 1		1
はい太郎	<u>1.0-2.0</u> <u>1.7-2.2</u> 10	<u>3</u> <u>3</u> 1	11
かつ (ぬるで)	<u>1.5</u> <u>2.5-3.0</u> 2		2
あせみ	<u>1</u> <u>1.6-2.5</u> 2		2
栗	<u>1.0-2.0</u> <u>1.6-2.5</u> 5		5
こめみつ (こはぜ)	<u>1.0-2.0</u> <u>1.7-2.5</u> 3		3
合歓	<u>1.5</u> <u>1.6</u> 1		1
犬桐	<u>2</u> <u>2.0-3.5</u> 2		2
犬もち	<u>3</u> <u>8.0</u> 1		1
山芋	<u>1.5-2.0</u> <u>2.5-3.5</u> 3		3
鬘賀	<u>1</u> <u>2</u> 1		1
合計			1569
(小苗木)			
木品			本数
楓			53
梅			2182
樅			5502
杣			7
松			19
栢			244
檜			33
合計			8040
字木戸際			
木数 673 本			
(別木)			
木品	サイズと本数		合計
楓	<u>1.0-2.0</u> <u>3.5-11.0</u> 20	<u>2.5</u> <u>2.5</u> 1	21
梅	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-9.5</u> 119	<u>3.0-3.5</u> <u>4.5-10.6</u> 12	131

木品	サイズと本数			合計
樅	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-18.0</u> 290	<u>3.0-4.0</u> <u>4.0-16.0</u> 61	<u>5.0</u> <u>11.5</u> 1	352
松	<u>1.0-2.0</u> <u>1.0-2.2</u> 4			4
栢	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-4.5</u> 37			37
檜	<u>1.0-2.0</u> <u>1.0-3.5</u> 17			17
合計				562
(雑木)				
木品	サイズと本数			合計
さるた	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-6.0</u> 13	<u>3.0-4.0</u> <u>3.0-6.5</u> 8		21
かつら	<u>1.0-2.0</u> <u>4.0-13.0</u> 2	<u>3</u> <u>7.0-8.0</u> 2		4
柗	<u>1.0-2.0</u> <u>1.8-5.5</u> 25			25
椎	<u>1.0-2.0</u> <u>1.7-2.8</u> 9			9
楓	<u>1.0-2.0</u> <u>2.0-4.0</u> 5			5
榊	<u>1.0-1.5</u> <u>1.6-9.0</u> 9			9
さる柿	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-6.0</u> 6			6
こが	<u>1.0-2.0</u> <u>2.0-9.0</u> 5			5
あせみ	<u>1</u> <u>1.8-2.3</u> 5			5
たで	<u>1.5-2.0</u> <u>2.0-2.7</u> 3			3
桜	<u>1.5-2.5</u> <u>2.0-3.5</u> 2			2
とり足	<u>1.0-2.0</u> <u>2.5-3.5</u> 2			2
水草	<u>1.0-1.5</u> <u>2</u> 2			2

(つづく)

木戸際(雑木)(つづき)

木品	サイズと本数	合計
榎	$\frac{1}{3.0-4.0}$	2
	2	
犬もち	$\frac{1}{2}$	1
	1	
麻から	$\frac{1}{2.5}$	1
	1	
栗	$\frac{1}{2}$	1
	1	
つばき	$\frac{1}{2.2}$	1
	1	
犬栢	$\frac{1}{2.5}$	1
	1	
青茨	$\frac{2}{2.0-3.0}$	3
	3	
赤め	$\frac{1.5}{2.2}$	1
	1	
山桃	$\frac{1}{2.5}$	1
	1	
はい太郎	$\frac{1}{2.5}$	1
	1	
合計		111

(小苗木)

木品	本数
槻	5
榎	589
樅	508
松	1
栢	80
檜	53
合計	1236

与市坂の内

字小挽尾

木数 2665 本

(別木)

木品	サイズと本数			合計
槻	$\frac{1.0-2.0}{1.2-23.5}$	$\frac{2.5-3.0}{3.0-18.0}$	$\frac{3.5-4.5}{5.5-20.0}$	124
	91	27	6	
榎	$\frac{1.0-2.5}{1.0-9.5}$	$\frac{3.0-4.0}{3.0-9.0}$		128
	110	18		

木品	サイズと本数			合計
樅	$\frac{1.0-2.5}{1.0-15.0}$	$\frac{3.0-4.0}{2.0-16.0}$	$\frac{4.5-6.0}{5.0-16.0}$	1473
	1229	231	13	
栢	$\frac{1.0-2.0}{1.2-5.5}$	$\frac{4.0}{7.0}$		6
	5	1		
栢	$\frac{1.0-2.5}{1.0-5.0}$			211
	211			
檜	$\frac{1.0-2.0}{1.0-8.0}$			38
	38			
合計				1980

(雑木)

木品	サイズと本数			合計
榎	$\frac{1.0-2.5}{1.6-6.0}$	$\frac{3.0}{2.0}$		80
	79	1		
楓	$\frac{1.0-2.5}{1.8-12.0}$	$\frac{3.0-4.0}{2.0-10.0}$		106
	88	18		
こが	$\frac{1.0-2.5}{1.6-9.0}$	$\frac{3.0}{2.5-8.0}$		96
	93	3		
猿太	$\frac{1.0-2.5}{1.8-9.0}$	$\frac{3.0-4.0}{2.5-7.0}$	$\frac{5.0}{5.0-5.5}$	67
	39	24	4	
桂	$\frac{1.0-2.5}{2.0-18.0}$	$\frac{3.0-4.0}{5.5-9.0}$		24
	18	6		
榎	$\frac{1.0-2.5}{3.8-10.8}$	$\frac{3.0-4.0}{4.0-12.0}$		30
	19	11		
赤澤	$\frac{1.0-2.5}{1.6-8.0}$	$\frac{3.0-4.0}{5.0-10.8}$		34
	31	3		
鳥足	$\frac{1.0-2.5}{1.8-8.0}$	$\frac{3.0-4.0}{2.5-8.0}$		39
	32	7		
水草	$\frac{1.0-2.5}{1.6-3.5}$			24
	24			
青瓜	$\frac{1.0-2.0}{1.6-3.5}$			25
	25			
ひらき	$\frac{1.0-2.0}{2.0-4.0}$			6
	6			
桜	$\frac{1.0-2.5}{1.6-9.0}$	$\frac{3.0-4.0}{3.5-13.0}$		24
	20	4		
あく芝	$\frac{1.0-2.0}{1.6-2.5}$			14
	14			

(つづく)

小挽尾(雑木 つづき)

木品	サイズと本数	合計
こはぜ	<u>1.0-2.0</u> <u>1.9-3.0</u> 14	14
しで	<u>1.0-2.0</u> <u>1.6-2.5</u> 20	
ゆすり葉	<u>1.0-2.5</u> <u>3.0</u> <u>1.6-5.0</u> <u>2.8</u> 12 1	13
朴	<u>1.0-2.0</u> <u>1.6-2.5</u> 8	
青茨	<u>1.0-2.0</u> <u>2.0-4.0</u> 3	3
さる柿	<u>1.0-2.0</u> <u>2.0-6.5</u> 8	
椿	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-3.5</u> 6	6
犬桜	<u>1.0-2.0</u> <u>3.0-3.5</u> <u>2.0-10.0</u> <u>6.5-9.0</u> 8 3	
桑	<u>1.0-2.0</u> <u>3.0</u> <u>1.8-3.0</u> <u>7.5</u> 6 1	7
麻穀	<u>1.0-1.5</u> <u>2.0-3.0</u> 7	
藤木	<u>1.0</u> <u>2.8-3.5</u> 2	2
ゆく	<u>1.0-2.0</u> <u>1.6-3.0</u> 2	
白瓜	<u>2.0</u> <u>1.8-3.0</u> 3	3
山いも	<u>2.0</u> <u>2.0-2.5</u> 2	
赤目	<u>1.0</u> <u>2.0-2.6</u> 2	2
榎	<u>1.0-1.5</u> <u>2.5-3.0</u> 2	
ぬるで	<u>1.0</u> <u>2.2</u> 1	1
椎	<u>1.0</u> <u>2.0</u> 1	
犬桐	<u>1.0</u> <u>2.5</u> 1	1
	1	

木品	サイズと本数	合計
澤桑	<u>1.0</u> <u>1.8</u> 1	1
栗	<u>1.0</u> <u>2.0</u> 1	
青木葉	<u>1.0</u> <u>2.5</u> 1	1
合計		

(小苗木)

木品	本数
槻	21
梅	319
縦	2108
松	5
栢	126
檜	23
合計	2602

与市坂の内

字大挽尾

木数 4499 本

(別木)

木品	サイズと本数	合計
大挽尾		
槻	<u>1.0-2.0</u> <u>2.5-3.0</u> <u>3.5-4.0</u> <u>1.0-16.0</u> <u>3.5-16.0</u> <u>5.2-10.2</u> 129 18 5	152
梅	<u>1.0-2.5</u> <u>3.0-3.5</u> <u>1.0-8.0</u> <u>2.0-9.0</u> 288 21	
縦	<u>1.0-2.5</u> <u>3.0-4.0</u> <u>4.5-6.0</u> <u>1.0-15.0</u> <u>2.4-18.0</u> <u>4.2-15.0</u> 2513 310 13	2836
杣	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-3.0</u> 4	
松	<u>1.5</u> <u>1.5-3.2</u> 2	2
栢	<u>1.0-2.5</u> <u>3.0</u> <u>1.0-6.0</u> <u>3.8</u> 211 1	
檜	<u>1.0-2.0</u> <u>1.0-5.0</u> 40	40
合計		

(つづく)

(大挽尾 雑木 つづき)

木品	サイズと本数		合計	木品	サイズと本数		合計
栴	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-3.5</u>	38	朴	<u>1.0-2.0</u>		3
	<u>1.7-13.5</u>	<u>5.0-10.5</u>			<u>1.6-2.0</u>		
	26	12			3		
楓	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	127	ゆすり葉	<u>1.0-2.0</u>		20
	<u>1.8-12.5</u>	<u>6.0-15.0</u>			<u>1.6-3.5</u>		
	108	19			20		
榊	<u>1.0-2.5</u>		138	さる柿	<u>1.0-2.0</u>		7
	<u>1.6-6.0</u>				<u>2.0-4.5</u>		
	138				7		
こが	<u>1.0-2.5</u>		113	麻から	<u>1.0-2.0</u>		6
	<u>1.6-8.5</u>				<u>1.6-3.5</u>		
	113				6		
とり足	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>	56	ふじ木	<u>1.0-2.0</u>		5
	<u>1.6-9.5</u>	<u>4.0-9.0</u>			<u>1.8-2.5</u>		
	51	5			5		
こはぜ	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.5</u>	45	栗	<u>1.0-2.0</u>		2
	<u>1.7-3.5</u>	<u>3.5</u>			<u>2.0-2.3</u>		
	44	1			2		
さるた	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	68	青茨	<u>1.5-2.0</u>	<u>3.0</u>	5
	<u>1.6-13.0</u>	<u>3.5-9.0</u>			<u>1.6-3.0</u>	<u>8.0</u>	
	52	16			4	1	
青瓜	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0</u>	37	ぬるで	<u>1.0-2.0</u>		9
	<u>1.7-4.5</u>	<u>4.5</u>			<u>2.0-4.2</u>		
	36	1			9		
かつら	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-3.5</u>	25	犬桜	<u>1.0-2.0</u>		5
	<u>1.7-15.0</u>	<u>8.5-15.0</u>			<u>2.0-3.5</u>		
	23	2			5		
水草	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0</u>	25	赤め	<u>1.0-2.0</u>		4
	<u>1.6-4.0</u>	<u>3.6</u>			<u>1.7-2.0</u>		
	24	1			4		
さくら	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0</u>	42	山芋	<u>1.0-1.5</u>	<u>3.0</u>	3
	<u>1.6-13.0</u>	<u>12.0</u>			<u>1.8-2.0</u>	<u>2.5</u>	
	41	1			2	1	
赤沢	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	27	山ならし	<u>1.0-1.5</u>		2
	<u>1.8-11.0</u>	<u>6.0-7.5</u>			<u>1.7-1.8</u>		
	25	2			2		
しで	<u>1.0-2.0</u>		35	桑	<u>1.0</u>		2
	<u>1.6-4.5</u>				<u>2.0</u>		
	35				2		
柊	<u>1.0-2.0</u>		31	後の木	<u>1.5</u>		1
	<u>1.6-7.0</u>				<u>2.5</u>		
	31				1		
椿	<u>1.0-2.5</u>		24	しな	<u>1.5</u>		1
	<u>1.6-4.5</u>				<u>2.4</u>		
	24				1		
榎	<u>1.0</u>		1	沢桑	<u>1.5</u>		1
	<u>2.5</u>				<u>2.5</u>		
	1				1		
あく芝	<u>1.0-2.0</u>		14	牛ころし	<u>1.0</u>		1
	<u>1.6-2.5</u>				<u>1.7</u>		
	14				1		
あせみ	<u>1.0-1.5</u>		12	かも (こがえ入 る)	<u>1.5</u>		1
	<u>1.6-4.5</u>				<u>2.0</u>		
	12				1		
白瓜	<u>1.0-2.0</u>		4	みつの木 (かつらえ 入る)	<u>2.0</u>		3
	<u>1.8-2.5</u>				<u>1.6-2.0</u>		
	4				3		

(つづく)

(大挽尾 雑木 つづき)

木品	サイズと本数	合計
沢栗	<u>1.0</u> <u>2.3</u>	
	1	1

合計		944
-----------	--	------------

(小苗木)

木品	本数
槻	9
榊	305
樅	4157
杣	2
栢	137
檜	5
合計	4615

与市坂の内

字奥野

木数 4159 本

(別木)

木品	サイズと本数			合計
奥野				
槻	<u>1.0-2.0</u> <u>1.0-24.0</u>	<u>2.5-3.0</u> <u>3.5-20.5</u>	<u>3.5-4.0</u> <u>3.6-9.5</u>	
	127	34	5	166
榊	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-6.5</u>	<u>3.0</u> <u>4.5-8.0</u>		
	60	4		64
樅	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-18.0</u>	<u>3.0-4.0</u> <u>2.5-15.0</u>	<u>4.5-5.0</u> <u>7.0-17.5</u>	
	1482	209	6	1697
杣	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-16.0</u>	<u>3.0-4.0</u> <u>2.5-6.0</u>		
	35	8		43
松	<u>2.0</u> <u>2.5</u>			
	1			1
栢	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-6.0</u>			
	285			285
檜	<u>1.0-2.0</u> <u>1.0-3.5</u>			
	23			23
合計				2279

(雑木)

木品	サイズと本数			合計
青瓜	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-9.0</u>			
	303			303
鳥足	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-12.0</u>	<u>3.0-4.0</u> <u>3.5-8.0</u>		
	164	23		187
こはぜ	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-10.0</u>	<u>3.0</u> <u>7.0</u>	<u>4.0</u> <u>10.0</u>	
	248	1	1	250

木品	サイズと本数			合計
楓	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-12.0</u>	<u>3.0-4.0</u> <u>3.5-17.0</u>		
	206	22		228
猿太	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-9.0</u>	<u>3.0-4.0</u> <u>2.0-9.0</u>	<u>4.5-5.0</u> <u>6.0-10.0</u>	
	130	44	2	176
こが	<u>1.0-2.5</u> <u>1.7-7.0</u>			
	48			48
水草	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-5.0</u>	<u>3.0</u> <u>3.6-7.0</u>		
	96	2		98
桜	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-9.0</u>	<u>3.0-4.0</u> <u>5.0-12.0</u>		
	61	3		64
白瓜	<u>3.0</u> <u>4.0</u>	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-5.0</u>		
	2	45		47
桂	<u>1.0-2.0</u> <u>2.0-20.0</u>	<u>3.0</u> <u>3.0</u>		
	12	1		13
しで	<u>1.0-2.0</u> <u>1.6-8.5</u>			
	74			74
榊	<u>1.0-2.5</u> <u>1.8-14.0</u>	<u>3.0-4.0</u> <u>3.0-15.0</u>		
	65	36		101
椿	<u>1.0-2.0</u> <u>1.8-5.0</u>			
	24			24
犬桜	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-12.0</u>	<u>3.0</u> <u>3.6-8.1</u>		
	12	2		14
赤澤	<u>1.0-2.5</u> <u>1.8-11.0</u>	<u>3.0-4.0</u> <u>6.5-9.0</u>		
	46	4		50
榊	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-8.0</u>			
	30			30
柃	<u>1.0-1.5</u> <u>1.6-4.0</u>			
	21			21
朴	<u>1.0-2.0</u> <u>2.0-5.0</u>			
	9			9
藤木	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-7.5</u>			
	22			22
あせみ	<u>1.0</u> <u>1.6-5.0</u>			
	20			20
澤芝	<u>1.0-2.0</u> <u>2.0-6.0</u>			
	12			12
あさ殻	<u>1.0-2.0</u> <u>1.7-3.0</u>			
	15			15

(つづく)

(奥野 雑木 つづき)

木品	サイズと本数	合計	木品	サイズと本数	合計
白栢	<u>1.0-2.0</u> <u>1.7-3.0</u> 6	6	あく芝	<u>1.0</u> <u>2.5</u> 1	1
さる柿	<u>1.0-1.5</u> <u>1.9-3.0</u> 6	6	桑	<u>1.5</u> <u>2.5</u> 1	1
ぬるで	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-2.5</u> 11	11	くさ記	<u>1.0</u> <u>2.5</u> 1	1
青茨	<u>1.0-2.0</u> <u>1.7-2.0</u> 5	5	きわだ	<u>1.5</u> <u>2.0</u> 1	1
真弓	<u>1.0-2.0</u> <u>1.8-5.0</u> 4	4	山ならし	<u>1.0</u> <u>2.0</u> 1	1
澤ふた	<u>1.0-1.5</u> <u>2.0</u> 2	2	茱萸	<u>1.0</u> <u>2.5</u> 1	1
澤ふさ	<u>1.0</u> <u>2.0</u> 1	1	合計		1880
びやうぶ	<u>1.0-1.5</u> <u>2.0-2.8</u> 4	4	(小苗木)		
犬栢	<u>1.0-1.5</u> <u>2.0-3.0</u> 3	3	木品		本数
ゆく	<u>1.0-1.5</u> <u>3.5-4.0</u> 2	3	槻		20
青肌	<u>1.5</u> <u>2.5-3.0</u> 3	3	榊		84
塩ち	<u>1.5-2.0</u> <u>3.0-7.0</u> 6	6	樅		1854
川ぐるみ	<u>2.0</u> <u>3.0-5.0</u> 3	3	杣		43
栗	<u>1.0-1.5</u> <u>1.6-2.3</u> 3	4	栢		230
榎	<u>1.0-2.0</u> <u>2.0-2.5</u> 3	3	榿		9
赤め	<u>1.0</u> <u>3.0</u> 1	1	合計		2240
山栢	<u>1.0</u> <u>2.0</u> 1	1	字松山		
澤桑	<u>1.0</u> <u>2.5</u> 1	1	木数 5006 本		
鬢か	<u>1.5</u> <u>3.0</u> 1	1	(別木)		
	<u>1</u> 1	1	木品	サイズと本数	合計
			槻	<u>1.0-2.0</u> <u>1.0-20.0</u> 255	<u>2.5-3.0</u> <u>1.5-12.0</u> 73
			榊	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-10.5</u> 31	<u>3.5-5.0</u> <u>4.0-10.5</u> 16
			榊	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-10.5</u> 31	<u>3.0</u> <u>4.5-6.0</u> 3
			樅	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-16.0</u> 2737	<u>3.0-4.0</u> <u>2.0-17.0</u> 511
			杣	<u>1.0-2.0</u> <u>1.6-3.5</u> 2	<u>4.5-6.0</u> <u>3.8-17.5</u> 26
			松	<u>1.0-2.0</u> <u>1.8-5.5</u> 4	
			栢	<u>1.0-2.0</u> <u>1.0-5.0</u> 147	<u>3.0</u> <u>5.0</u> 1
			榿	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-6.5</u> 81	
			合計		3887

(雑木)

木品	サイズと本数		合計	木品	サイズと本数		合計
榊	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-7.0</u>	<u>3.5</u> <u>4.5</u>	214	朴	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-4.0</u>		6
	213	1			6		
さるた	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-11.0</u>	<u>3.0-4.0</u> <u>2.5-11.0</u>	227	ゆつり葉	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-4.0</u>		5
	167	60			5		
ひらき	<u>1.0-2.0</u> <u>1.6-6.0</u>		138	茱萸	<u>1.0</u> <u>2.0-5.5</u>		4
	138				4		
楓	<u>1.0-2.5</u> <u>1.7-9.0</u>	<u>3.0-4.0</u> <u>4.0-6.5</u>	69	はい太郎	<u>1.0-2.0</u> <u>2.0-4.0</u>		3
	65	4			3		
栴	<u>1.0-2.5</u> <u>1.7-12.0</u>		36	かも	<u>1.0-1.5</u> <u>2.0-5.0</u>		3
	36				(こがえ入)	3	
さくら	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-8.0</u>	<u>3.0</u> <u>4.0</u>	31	しほち	<u>1.0-1.5</u> <u>3.0-4.0</u>		3
	30	1			3		
こが	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-7.0</u>		71	赤め	<u>1.5-2.0</u> <u>1.8-3.0</u>		2
	71				2		
椿	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-5.0</u>	<u>3.0</u> <u>4.0</u>	73	ゆく	<u>1.0-1.5</u> <u>2.0</u>	<u>3.0</u> <u>2.0</u>	3
	72	1			2	1	
悪芝	<u>1.0-2.0</u> <u>1.6-4.0</u>		52	茨	<u>2.5</u> <u>4.5</u>		2
	52				2		
こはぜ	<u>1.0-2.5</u> <u>1.7-5.0</u>	<u>3.0</u> <u>8.0-18.0</u>	26	藤木	<u>1.0-2.0</u> <u>3.0</u>		2
	24	2			2		
かつら	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-7.0</u>	<u>3.0</u> <u>2.8</u>	35	あせみ	<u>1.0</u> <u>1.7-2.0</u>		2
	34	1			2		
青瓜	<u>1.0-2.0</u> <u>1.8-3.1</u>		13	合歓	<u>1.0</u> <u>2.0</u>	<u>4.0</u> <u>3.0</u>	2
	13				1	1	
水草	<u>1.0-2.0</u> <u>1.8-3.2</u>		14	八つるき (牛ころしえ入)	<u>1.0</u> <u>2.0-4.0</u>		2
	14				2		
椎	<u>1.0-2.0</u> <u>2.0-3.0</u>		10	桑	<u>1.0</u> <u>2.0</u>		1
	10				1		
しで	<u>1.0-2.0</u> <u>1.7-5.0</u>		12	沢芝	<u>1.5</u> <u>3.0</u>		1
	12				1		
栗	<u>1.0-2.5</u> <u>1.7-5.5</u>		13	麻から	<u>1.0</u> <u>2.5</u>		1
	13				1		
赤沢	<u>1.0-2.0</u> <u>1.9-10.0</u>	<u>3.0</u> <u>14.0</u>	15	白瓜	<u>1.5</u> <u>2.0</u>		1
	14	1			1		
青茨	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-5.0</u>		10	きわた	<u>1.0</u> <u>2.5</u>		1
	10				1		
さる柿	<u>1.0-2.0</u> <u>1.8-5.0</u>		8	山桃	<u>1.0</u> <u>1.7</u>		1
	8				1		

(つづく)

(松山 雑木 つづき)

木品	サイズと本数	合計
山芋	<u>1.5</u> <u>2.5</u> 1	1
たで	<u>1.5</u> <u>2.5</u> 1	1
犬桐	<u>2.0</u> <u>4.0</u> 1	1
みつ	<u>2.5</u> <u>9.0</u> 1	1
(かつらえ 入)	<u>2.0</u> <u>5.0</u> 1	1
白そよ (山芋え 入)	<u>1.0</u> <u>1.7</u> 1	1
鬢皮	<u>2.0</u> <u>4.8-4.8</u> 1	1
合計		1119

(小苗木)

木品	本数
槻	16
榎	18
樅	3088
杣	5
松	1
栢	181
檜	152
合計	3461

字八町通

木数 7777 本

(別木)

木品	サイズと本数	合計
槻	<u>1.0-2.0</u> <u>1.0-15.0</u> <u>2.5-3.0</u> <u>3.0-12.0</u> <u>3.5-4.0</u> <u>9.0-13.0</u> 195 50 3	248
榎	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-8.0</u> <u>3.0</u> <u>4.0-7.0</u> 59 2	61
樅	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-15.5</u> <u>3.0-4.0</u> <u>1.6-19.0</u> <u>4.5-5.0</u> <u>5.0-15.8</u> 3841 561 12	4414
杣	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-6.5</u> 45	45
栢	<u>1.0-2.0</u> <u>1.0-7.5</u> <u>3.0</u> <u>3.0</u> 635 1	636

木品	サイズと本数	合計
檜	<u>1.0-2.0</u> <u>1.0-4.5</u> <u>3.0</u> <u>2.0</u> 150 1	151
合計		5555

(雑木)

木品	サイズと本数	合計
楓	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-13.0</u> <u>3.0-4.0</u> <u>3.0-13.0</u> 325 21	346
榎	<u>1.0-2.5</u> <u>1.7-19.0</u> <u>3.0-4.0</u> <u>4.0-14.0</u> 174 43	217
猿太	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-10.0</u> <u>3.0-4.0</u> <u>1.7-9.0</u> 167 34	201
こはぜ	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-10.7</u> <u>3.0</u> <u>2.5</u> 179 1	180
青瓜	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-13.0</u> <u>3.0</u> <u>4.0</u> 248 1	249
鳥足	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-9.0</u> <u>3.0-4.0</u> <u>6.0-10.0</u> 99 6	105
柗	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-8.0</u> <u>3.0</u> <u>3.0</u> 91	91
こが	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-7.5</u> <u>3.0</u> <u>3.0</u> 123	123
水草	<u>1.0-2.0</u> <u>1.6-3.0</u> <u>3.0</u> <u>3.0</u> 58	58
榎	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-7.0</u> <u>3.0</u> <u>4.0-5.0</u> 178 2	180
しで	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-4.5</u> <u>3.0</u> <u>3.0</u> 96	96
赤澤	<u>1.0-2.0</u> <u>1.7-8.0</u> <u>3.0</u> <u>3.5-6.5</u> 36 3	39
桜	<u>1.0-2.0</u> <u>1.6-8.6</u> <u>3.0</u> <u>3.0</u> 60	60
椿	<u>1.0-2.0</u> <u>1.6-5.0</u> <u>3.0</u> <u>3.5</u> 58	58
白瓜	<u>1.0-2.0</u> <u>2.0-4.0</u> <u>3.0</u> <u>3.5</u> 22 1	23
あく芝	<u>1.0-2.5</u> <u>1.7-4.0</u> <u>3.0</u> <u>3.0</u> 17	17

(つづく)

(八町通 雑木 つづき)

木品	サイズと本数	合計
藤木	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-8.0</u> <u>3.0</u> <u>5.0-10.0</u> 12 2	14
青茨	<u>1.0-2.0</u> <u>1.7-5.5</u> 37	37
犬桜	<u>1.0-2.5</u> <u>1.8-14.5</u> 15	15
桂	<u>1.0-2.0</u> <u>2.0-10.0</u> 13	13
朴	<u>1.0-2.0</u> <u>1.8-3.5</u> 11	11
ぬるで	<u>1.0-2.0</u> <u>1.6-3.0</u> 9	9
桑	<u>1.0-1.5</u> <u>1.6-3.0</u> 7	7
澤芝	<u>1.0-2.0</u> <u>1.6-4.0</u> 8	8
榎	<u>1.0-1.5</u> <u>2.5-3.5</u> 3 1	4
澤桑	<u>1.0-1.5</u> <u>2.5-4.0</u> 3	3
椎	<u>1.0-2.0</u> <u>1.8-3.5</u> 11	11
麻穀	<u>1.0-2.0</u> <u>2.0-8.0</u> 5	5
あせみ	<u>1.0-2.0</u> <u>1.8-4.0</u> 14	14
くさ記	<u>1.0-1.5</u> <u>1.7-2.0</u> 5	5
青肌	<u>1.0-2.0</u> <u>2.0-5.5</u> 5	5
猿柿	<u>1.0</u> <u>1.8-2.0</u> 2	2
栗	<u>2.0</u> <u>2.0-3.0</u> 2	2
赤め	<u>2.0</u> <u>2.5-3.0</u> 2	2
真弓	<u>1.0</u> <u>3.0-5.5</u> 2	2

木品	サイズと本数	合計
きわだ	<u>1.5-2.0</u> <u>1.6-2.0</u> 2	2
川ぐるみ	<u>1.0</u> <u>2.0</u> 1	1
塩ち	<u>3.5</u> <u>8.5</u> 1	1
大栢	<u>2.0</u> <u>2.5</u> 1	1
山桃	<u>1.0</u> <u>2.0</u> 1	1
大桐	<u>2.0</u> <u>2.8</u> 1	1
ゆく	<u>1.5</u> <u>6.0</u> 1	1
鬢皮	<u>1.0</u> <u>3.0</u> 1	1
栢	<u>1.0</u> <u>1.7</u> 1	1
合計		2222

(小苗木)

木品	本数
槻	43
榎	54
樅	6872
杣	56
松	1
栢	478
檜	335
合計	7839

字上廣

木数 7933 本

(別木)

木品	サイズと本数	合計
槻	<u>1.0-2.0</u> <u>1.0-15.0</u> 277 103	401
榎	<u>2.5-3.0</u> <u>2.0-15.0</u> 21 2	15
樅	<u>3.0-3.5</u> <u>5.0-6.0</u> 2	2
樅	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-16.8</u> 1068 178	1257
	<u>3.0-5.5</u> 11	11

(つづく)

(上廣 別木 つづき)

木品	サイズと本数			合計
杣	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>		43
	<u>1.0-10.8</u>	<u>3.0</u>		
	42	1		
栢	<u>1.0-2.5</u>			212
	<u>1.0-7.0</u>			
	212			
合計			1928	
(雑木)				
木品	サイズと本数			合計
栲	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	<u>4.5-6.0</u>	1147
	<u>1.6-20.0</u>	<u>2.0-15.0</u>	<u>4.6-13.0</u>	
	834	299	14	
さるた	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	<u>5.0</u>	2102
	<u>1.6-10.0</u>	<u>1.8-9.0</u>	<u>5.5</u>	
	1815	286	1	
楓	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>		792
	<u>1.6-12.0</u>	<u>2.0-10.0</u>		
	728	64		
こはぜ	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>		527
	<u>1.6-8.0</u>	<u>2.2-5.5</u>		
	473	54		
とり足	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	<u>5.0</u>	247
	<u>2.0-12.0</u>	<u>2.5-8.0</u>	<u>4.0-6.5</u>	
	188	56	3	
さくら	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>		144
	<u>1.7-10.0</u>	<u>3.0-15.0</u>		
	135	9		
赤沢	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>		128
	<u>1.7-8.0</u>	<u>3.0-5.5</u>		
	125	3		
犬桜	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>		119
	<u>1.6-12.0</u>	<u>2.0-15.0</u>		
	91	28		
は草	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0-4.0</u>		22
	<u>2.0-8.0</u>	<u>2.0-15.0</u>		
	11	11		
白瓜	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-3.5</u>		121
	<u>1.8-8.5</u>	<u>1.8-5.5</u>		
	112	9		
青瓜	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>		73
	<u>1.7-5.0</u>	<u>3.6-4.0</u>		
	71	2		
しで	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>		103
	<u>1.7-5.5</u>	<u>2.0-4.0</u>		
	98	5		
沢芝	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0</u>		71
	<u>1.7-5.3</u>	<u>5.3</u>		
	70	1		
沢桑	<u>1.0-2.5</u>			40
	<u>2.0-5.5</u>			
	40			
真弓	<u>1.0-2.5</u>			39
	<u>1.6-7.0</u>			
	39			
あせ実	<u>1.0-1.5</u>			36
	<u>1.8-4.0</u>			
	36			

木品	サイズと本数		合計
ひやうぶ	<u>1.0-2.0</u>		81
	<u>1.7-6.0</u>		
	81		
かつら	<u>1.0-1.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	13
	<u>2.5-5.0</u>	<u>10.0</u>	
	11	2	
ふじ木	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>	51
	<u>1.7-11.5</u>	<u>2.5</u>	
	50	1	
麻から	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>	25
	<u>1.7-4.0</u>	<u>2.0</u>	
	24	1	
しら栢	<u>1.0-2.0</u>		37
	<u>1.9-4.0</u>		
	37		
朴	<u>1.0-2.0</u>		13
	<u>1.8-6.0</u>		
	13		
こが	<u>1.0-2.5</u>		11
	<u>2.0-4.5</u>		
	11		
青茨	<u>1.0-2.5</u>		7
	<u>2.0-10.0</u>		
	7		
青はだ	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>	8
	<u>1.8-3.0</u>	<u>4.0</u>	
	7	1	
熊槇 (青はだえ 入)	<u>1.0-2.0</u>		9
	<u>1.7-4.5</u>		
	9		
山芋	<u>1.0-2.0</u>		7
	<u>1.8-4.0</u>		
	7		
鬢皮	<u>1.0-1.5</u>		8
	<u>1.8-3.5</u>		
	8		
水草	<u>2.5</u>	<u>3.0</u>	2
	<u>2.0</u>	<u>6.0</u>	
	1	1	
椿	<u>1.0</u>		2
	<u>2.0</u>		
	2		
榊	<u>1.5</u>		1
	<u>2.5</u>		
	1		
ひらき	<u>1.0</u>		1
	<u>3.0</u>		
	1		
榎	<u>1.5-2.0</u>		3
	<u>3.5-9.0</u>		
	3		
木わだ	<u>1.0-1.5</u>		2
	<u>2.0-2.8</u>		
	2		
泡吹	<u>1.0-2.0</u>		2
	<u>2.0-2.5</u>		
	2		

(つづく)

(上廣 雑木 つづき)

木品	サイズと本数	合計
いほた	<u>1.0</u> <u>1.9-2.6</u> 2	2
茨	<u>3.0</u> <u>3.0</u> 1	
桑	<u>1.5</u> <u>2.5</u> 1	1
しほじ	<u>2.0</u> <u>3.0</u> 1	
こめさくら (犬さくらえ 入)	<u>1.0</u> <u>1.8</u> 1	1
赤め	<u>1.0</u> <u>2.6</u> 1	
沢ふた	<u>2.0</u> <u>2.5</u> 1	1
川ぐるみ	<u>4.0</u> <u>6.5</u> 1	
やつるぎ (牛ころし え入)	<u>1.0</u> <u>2.0</u> 1	1
もち	<u>1.0</u> <u>3.0</u> 1	
合計		6005

(小苗木)

木品	本数
槻	8
榎	3
縦 杣	1588
杣	41
栢	143
合計	1783

字上ヶ洞

木数 2332 本

(別木)

木品	サイズと本数			合計
槻	<u>1.0-2.0</u> <u>1.3-12.0</u> 72	<u>2.5-3.0</u> <u>3.0-8.0</u> 29	<u>3.5-6.0</u> <u>2.5-6.0</u> 19	120
榎	<u>1.5-2.5</u> <u>3.5-7.0</u> 3			
縦	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0.5</u> 90	<u>3.0-4.0</u> <u>1.7-18.5</u> 42	<u>4.5-6.0</u> <u>4.5-7.0</u> 4	136

木品	サイズと本数	合計
杣	<u>1.0</u> <u>1.8</u> 1	1
栢	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-4.8</u> 69	
合計		69

(雑木)

木品	サイズと本数			合計
榎	<u>1.0-2.5</u> <u>1.7-12.0</u> 400	<u>3.0-4.0</u> <u>2.5-12.0</u> 127	<u>5.0</u> <u>4.6-10.0</u> 7	534
楓	<u>1.0-2.5</u> <u>1.7-10.5</u> 287	<u>3.0-4.0</u> <u>3.0-11.0</u> 30	<u>5.0</u> <u>8.0</u> 1	
さるた	<u>1.0-2.5</u> <u>1.7-7.5</u> 209	<u>3.0-4.0</u> <u>1.7-9.0</u> 47		256
しで	<u>1.0-2.5</u> <u>1.7-6.0</u> 192	<u>3.0-3.5</u> <u>2.0-4.0</u> 10		
赤沢	<u>1.0-2.5</u> <u>1.7-7.0</u> 92	<u>3.0-4.0</u> <u>2.3-9.7</u> 14		106
とり足	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-8.5</u> 39	<u>3.0-4.0</u> <u>2.7-10.0</u> 23	<u>4.5</u> <u>7.0</u> 1	
さくら	<u>1.0-2.5</u> <u>1.7-9.0</u> 47	<u>3.0-4.0</u> <u>2.5-8.0</u> 20		67
こはぜ	<u>1.0-2.5</u> <u>1.8-6.0</u> 63	<u>3.0</u> <u>2.6-4.0</u> 5		
ふじ木	<u>1.0-2.5</u> <u>1.7-7.0</u> 40	<u>3.0</u> <u>2.5-5.0</u> 5		45
沢芝	<u>1.0-2.5</u> <u>1.7-5.0</u> 50	<u>3.0-4.0</u> <u>3.5-10.0</u> 18		
犬桜	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-12.0</u> 18	<u>3.0-4.0</u> <u>3.5-10.0</u> 12		30
びやうふ	<u>1.0-2.0</u> <u>1.8-6.0</u> 41			
葉草	<u>3.0-4.0</u> <u>2.0-7.0</u> 3			3
あせみ	<u>1.0-2.0</u> <u>1.7-4.5</u> 30			
白瓜	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-6.3</u> 5	<u>3.5-4.0</u> <u>4.0-4.5</u> 3		8

(つづく)

(上ヶ洞 雑木 つづき)

木品	サイズと本数		合計
しな	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-8.0</u>	<u>3.0</u> <u>3.5</u>	14
	13	1	
川ぐるみ	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-5.0</u>	<u>3.0</u> <u>3.0-5.5</u>	16
	13	3	
沢栗	<u>1.0-2.5</u> <u>1.8-3.0</u>		32
	32		
栗	<u>1.0-2.5</u> <u>1.7-6.8</u>	<u>3.0</u> <u>6.5-7.0</u>	16
	14	2	
朴	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-4.8</u>		24
	24		
青はだ	<u>1.0-1.5</u> <u>2.0-4.5</u>	<u>3.0</u> <u>2.0</u>	15
	14	1	
かつら	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-7.0</u>		8
	8		
沢桑	<u>1.0-2.5</u> <u>1.8-5.0</u>		11
	11		
しら栢	<u>1.0-1.5</u> <u>1.8-2.8</u>		6
	6		
山芋	<u>1.5-2.5</u> <u>2.0-8.0</u>		8
	8		
麻から	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-4.5</u>		4
	4		
青瓜	<u>1.5-2.0</u> <u>3.2-4.0</u>	<u>3.0</u> <u>5.5</u>	3
	2	1	
真弓	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-6.0</u>		4
	4		
青茨	<u>2.5</u> <u>3.5</u>	<u>3.0-4.0</u> <u>9.0-11.0</u>	3
	1	2	
こが	<u>1.0-2.0</u> <u>2.0-6.0</u>	<u>3.0</u> <u>3.6</u>	4
	3	1	
泡吹	<u>1.0-2.5</u> <u>2.0-2.5</u>		3
	3		
水草	<u>1.0-1.5</u> <u>2.0-3.5</u>		2
	2		
もち	<u>1.0</u> <u>2.5-3.5</u>		2
	2		
つつじ	<u>1.0</u> <u>2.5</u>		1
	1		

木品	サイズと本数		合計
木わだ	<u>1.0</u> <u>3.0</u>		1
	1		
くるみ	<u>1.5</u> <u>2.5</u>		1
	1		
茨	<u>2.0</u> <u>3.5</u>	<u>3.0</u> <u>6.0</u>	2
	1	1	
熊ねち (青はだえ 入)		<u>3.0</u> <u>2.5</u>	1
		1	
みつ (かつらえ 入)	<u>2.0</u> <u>4.5</u>		1
	1		
合計			2003

(小苗木)		本数
木品		
椈		38
栢		53
合計		91

字新小屋

木数 9502 本

(別木)

木品	サイズと本数			合計
槻	<u>1.0-2.0</u> <u>1.0-22.0</u>	<u>2.5-3.0</u> <u>1.5-17.0</u>	<u>3.5-6.0</u> <u>3.0-15.0</u>	544
	413	113	18	
榎	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-7.5</u>	<u>3.0-3.5</u> <u>3.5-5.0</u>		20
	18	2		
椈	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-15.0</u>	<u>3.0-4.0</u> <u>2.5-15.0</u>	<u>4.5-6.0</u> <u>3.8-10.0</u>	1506
	1019	474	13	
欅	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-8.0</u>	<u>3.0</u> <u>3.5-3.7</u>		87
	84	3		
栢	<u>1.0-2.5</u> <u>1.0-6.5</u>	<u>3.0-4.0</u> <u>2.0-4.5</u>		1307
	1302	5		
榎	<u>1.0-2.0</u> <u>1.0-3.9</u>			68
	68			
合計				3532

(雑木)

木品	サイズと本数			合計
榎	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-18.0</u>	<u>3.0-4.0</u> <u>2.0-15.0</u>	<u>5.0</u> <u>7.0-11.0</u>	1067
	760	305	2	
楓	<u>1.0-2.5</u> <u>1.6-13.5</u>	<u>3.0-4.0</u> <u>2.2-13.0</u>		878
	788	90		

(つづく)

(新小屋 雑木 つづき)

木品	サイズと本数			合計	木品	サイズと本数			合計
さるた	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	<u>5.0</u>	661	川くる実	<u>1.0-2.0</u>	<u>5.0</u>	13	
	<u>1.6-10.0</u>	<u>2.0-15.0</u>	<u>4.7-7.0</u>			<u>1.9-7.0</u>	<u>4.0</u>		
	506	151	4			12	1		
しで	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>		506	麻殻	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0</u>	40	
	<u>1.6-7.5</u>	<u>2.0-7.0</u>				<u>1.8-3.5</u>	<u>2.0-4.0</u>		
	489	17				38	2		
鳥足	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	<u>4.5</u>	378	びやうふ	<u>1.0-2.0</u>		60	
	<u>1.6-10.0</u>	<u>2.5-10.5</u>	<u>5.5</u>			<u>1.8-4.0</u>			
	324	53	1			60			
こはぜ	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-3.5</u>		256	汗味	<u>1.0-1.5</u>		55	
	<u>1.6-6.0</u>	<u>2.5-6.0</u>				<u>1.7-6.0</u>			
	248	8				55			
青瓜	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>		188	椿	<u>1.0-2.0</u>		61	
	<u>1.6-6.0</u>	<u>2.5-6.6</u>				<u>1.8-4.5</u>			
	186	2				61			
さくら	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	<u>5.0</u>	148	ひらき	<u>1.0-2.0</u>		34	
	<u>1.7-9.0</u>	<u>2.4-13.0</u>	<u>5.8-8.5</u>			<u>1.8-6.0</u>			
	117	29	2			34			
こが	<u>1.0-2.5</u>			313	青はだ	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0</u>	26	
	<u>1.7-8.0</u>					<u>2.0-4.0</u>	<u>8.0</u>		
	313					25	1		
赤沢	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>		175	木和た	<u>1.0-1.5</u>	<u>3.0</u>	7	
	<u>1.7-10.0</u>	<u>2.5-12.0</u>				<u>2.0-3.0</u>	<u>2.0</u>		
	152	23				6	1		
犬さくら	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	<u>5.0</u>	142	沢栗	<u>1.5-2.0</u>	<u>3.0</u>	6	
	<u>1.7-12.0</u>	<u>2.5-18.0</u>	<u>5.2-7.0</u>			<u>2.0-5.0</u>	<u>3.5</u>		
	76	62	4			5	1		
榊	<u>1.0-2.5</u>	<u>4.0</u>		131	つつじ	<u>1.0-2.0</u>		9	
	<u>1.7-5.6</u>	<u>6.0</u>				<u>1.7-2.5</u>			
	130	1				9			
沢芝	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0</u>		94	泡吹	<u>1.0-2.0</u>		17	
	<u>1.6-4.6</u>	<u>3.5</u>				<u>1.6-3.2</u>			
	93	1				17			
沢桑	<u>1.0-2.5</u>			125	ぬるで	<u>1.0-2.0</u>		14	
	<u>1.7-6.0</u>					<u>1.8-3.0</u>			
	125					14			
水草	<u>1.0-2.5</u>			114	山芋	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0</u>	8	
	<u>1.7-5.0</u>					<u>2.0-5.5</u>	<u>4.5</u>		
	114					7	1		
かつら	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>		88	真弓	<u>1.0-2.0</u>		9	
	<u>1.7-11.0</u>	<u>3.4-8.0</u>				<u>1.8-5.0</u>			
	83	5				9			
藤木	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>		93	赤め	<u>1.0-2.5</u>		8	
	<u>1.8-10.0</u>	<u>2.0-11.0</u>				<u>2.0-4.0</u>			
	85	8				8			
朴	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0</u>		31	桑	<u>1.0-2.0</u>		8	
	<u>1.7-4.5</u>	<u>2.0-3.5</u>				<u>2.0-2.8</u>			
	29	2				8			
白瓜	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0-4.0</u>		52	ゆく	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0</u>	10	
	<u>1.8-7.0</u>	<u>3.0-5.5</u>				<u>2.0-6.5</u>	<u>6.5-7.0</u>		
	49	3				8	2		
青茨	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>		60	悪芝	<u>1.0-2.0</u>		10	
	<u>1.8-7.0</u>	<u>5.0-5.5</u>				<u>2.0-5.0</u>			
	58	2				10			
葉草	<u>2.0-2.5</u>	<u>3.0-3.5</u>		10	品	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>	4	
	<u>2.0-10.0</u>	<u>7.0-12.5</u>				<u>1.8-3.8</u>	<u>10.0-12.5</u>		
	7	3				2	2		

(つづく)

新小屋(雑木)(つづき)

木品	サイズと本数	合計
米みつ	1.0-2.0	
(こはぜえ入)	2.0-3.0	4
くさ記	1.0	
	1.8-2.0	4
犬栢	1.0-1.5	
	1.6-2.5	4
熊槇	1.0-2.5	
(青はだえ入)	1.7-3.0	4
熊祢ち	2.0-2.5	
(同右)	2.5-4.0	3
しら栢	1.0-2.0	
	1.7-2.2	5
榎	1.0-2.0	
	2.5-4.0	4
沢ふた	1.0-2.0	
	2.0-3.0	5
合欅	1.0-1.5	
	2.0-3.0	5
もち	1.0-2.0	
	2.0-4.0	6
くるみ	1.0-1.5	
	2.5	2
さる柿	1.0-2.0	
	2.0-2.5	4
栗	1.0-2.5	
	1.8-3.0	3
庭床	1.0	
	1.7-2.0	2
しほじ	1.5	
	2.0-10.0	2
椎	1.5	
	2.5	1
ゆつり葉	2.0	
	2.5	1
山栢	1.0	
	1.6	1
八剣	1.0	
(牛ころしえ入)	3.0	1
合計		5970

(小苗木)

木品	本数
槻	1572
梅	7
樺	5501
杣	299
栢	2200
檜	254
合計	9833

字拾ヶ所

木数 50390 本

(別木)

木品	サイズと本数			合計
槻	1.0-2.0	2.5-3.0	3.5-6.0	
	1.0-24.0	1.5-20.5	2.5-20.0	
	1694	486	107	2287
梅	1.0-2.5	3.0-4.0	5.0	
	1.0-10.5	2.0-11.0	6.5-9.0	
	1351	187	2	1540
樺	1.0-2.5	3.0-4.0	4.5-6.0	
	1.0-18.0	1.6-19.0	3.8-17.5	
	16790	3013	135	19938
杣	1.0-2.5	3.0-4.0	5.0	
	1.0-16.0	2.5-7.0	6.2	
	222	14	1	237
松	1.0-2.0	3.0		
	1.0-5.5	14.0		
	33	1		34
栢	1.0-2.5	3.0-4.0		
	1.0-7.5	2.0-6.0		
	3288	9		3297
檜	1.0-2.5	3.0		
	1.0-8.0	2.0		
	548	1		549
合計			27882	

(雑木)

木品	サイズと本数			合計
桐	1.0-2.5	3.0-4.0	4.5-6.0	
	1.6-20.0	2.0-15.0	4.6-13.0	
	2322	843	23	3188
さるた	1.0-2.5	3.0-4.0	4.5-5.0	
	1.6-13.0	1.7-15.0	3.0-10.0	
	3189	731	13	3933
楓	1.0-2.5	3.0-4.0	5.0	
	1.6-13.5	2.0-17.0	8.0	
	2727	311	2	3040
鳥足	1.0-2.5	3.0-4.0	4.5-5.0	
	1.6-12.0	2.5-10.5	4.0-7.0	
	940	176	5	1121
こはぜ	1.0-2.5	3.0-4.0	4.5	
	1.6-10.7	1.8-18.0	10.0	
	1350	73	1	1424
桜	1.0-2.5	3.0-4.0	5.0	
	1.6-13.0	2.4-15.0	5.8-8.5	
	582	69	2	653

(つづく)

(字拾ヶ所 雑木 つづき)

木品	サイズと本数			合計	木品	サイズと本数			合計
かつら	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	<u>5.0</u>	252	青はだ	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>	74	
	<u>1.7-20.0</u>	<u>2.5-15.0</u>	<u>10.0-10.0</u>			<u>1.7-5.5</u>	<u>2.0-8.0</u>		
	225	26	1			70	4		
犬さくら	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	<u>5.0</u>	338	栗	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>	47	
	<u>1.6-12.0</u>	<u>2.0-18.0</u>	<u>5.2-7.0</u>			<u>1.6-6.8</u>	<u>2.0-7.0</u>		
	227	107	4			44	3		
しで	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>		1053	葉草	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	35	
	<u>1.6-8.5</u>	<u>2.0-7.0</u>				<u>2.0-10.0</u>	<u>2.0-15.0</u>		
	1021	32				18	17		
榊	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>		1092	川ぐるみ	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>	34	
	<u>1.6-9.0</u>	<u>2.0-6.0</u>				<u>1.9-7.0</u>	<u>3.0-6.5</u>		
	1085	7				29	4		
こが	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-3.5</u>		1009	沢栗	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>	39	
	<u>1.6-11.0</u>	<u>2.5-10.0</u>				<u>1.8-5.0</u>	<u>3.5</u>		
	1000	9				38	1		
青瓜	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>		945	山芋	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>	33	
	<u>1.6-13.0</u>	<u>2.5-6.6</u>				<u>1.8-8.0</u>	<u>2.5-4.5</u>		
	938	7				31	2		
赤沢	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>		637	桑	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0</u>	32	
	<u>1.6-11.0</u>	<u>2.5-14.0</u>				<u>1.6-6.5</u>	<u>7.5</u>		
	580	57				31	1		
椿	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>		306	しな	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>	20	
	<u>1.6-5.0</u>	<u>4.0</u>				<u>1.8-8.0</u>	<u>3.5-12.5</u>		
	305	1				17	3		
水草	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>		403	ゆく	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0-4.0</u>	19	
	<u>1.6-6.0</u>	<u>3.6-7.0</u>				<u>1.6-6.5</u>	<u>2.0-7.0</u>		
	398	5				15	4		
白瓜	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>		261	木わだ	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0</u>	14	
	<u>1.6-8.5</u>	<u>1.8-6.5</u>				<u>1.6-3.0</u>	<u>2.0</u>		
	243	18				13	1		
柊	<u>1.0-2.5</u>			399	びやうふ	<u>1.0-2.0</u>		187	
	<u>1.6-8.0</u>					<u>1.7-6.0</u>			
	399					187			
ふじ木	<u>1.0-2.0</u>	<u>3.0-4.0</u>		235	ゆつり葉	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>	57	
	<u>1.7-11.5</u>	<u>2.0-11.0</u>				<u>1.6-6.0</u>	<u>2.8</u>		
	219	16				56	1		
沢桑	<u>1.0-2.5</u>			183	白柘	<u>1.0-2.0</u>		54	
	<u>1.7-6.0</u>					<u>1.7-4.0</u>			
	183	0				54			
沢芝	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>		236	ぬるで	<u>1.0-2.5</u>		46	
	<u>1.6-6.0</u>	<u>3.5-5.3</u>				<u>1.6-4.2</u>			
	234	2				46			
青茨	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0-4.0</u>		151	赤め	<u>1.0-2.5</u>		31	
	<u>1.6-10.0</u>	<u>5.0-11.0</u>				<u>1.8-4.0</u>			
	146	5				31			
悪芝	<u>1.0-2.5</u>			142	真弓	<u>1.0-2.5</u>		58	
	<u>1.6-5.0</u>					<u>1.6-7.0</u>			
	142					58			
朴	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>		110	さる柿	<u>1.0-2.5</u>		54	
	<u>1.6-6.0</u>	<u>2.0-3.5</u>				<u>1.6-7.0</u>			
	108	2				54			
椎	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>		93	泡吹	<u>1.0-2.0</u>		22	
	<u>1.7-8.0</u>	<u>4.5</u>				<u>1.6-3.2</u>			
	92	1				22			
麻から	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>		105	榎	<u>1.0-2.5</u>	<u>3.0</u>	21	
	<u>1.6-8.0</u>	<u>2.0-4.0</u>				<u>2.0-9.0</u>	<u>7.5</u>		
	102	3				20	1		

(つづく)

(字拾ヶ所 雑木 つづき)

木品	サイズと本数		合計	木品	サイズと本数		合計
あせみ	1.0-2.0		176	つつじ	1.0-2.0		10
	1.6-5.0				1.7-2.5		
	<u>176</u>				<u>10</u>		
はいたろう	1.0-2.0	3.0	15	庭床	1.0		2
	1.7-4.0	3.0			1.7-2.0		
	<u>14</u>	<u>1</u>			<u>2</u>		
しほぢ	1.0-2.0	3.5	13	いまた	1.0		2
	2.0-10.0	8.5			1.9-2.6		
	<u>12</u>	<u>1</u>			<u>2</u>		
くさ記	1.0-1.5		10	山橋	1.0		2
	1.7-2.5				1.6-2.0		
	<u>10</u>				<u>2</u>		
犬栢	1.0-2.0		9	つげ	1.0		1
	1.6-3.0				1.7		
	<u>9</u>				<u>1</u>		
もち	1.0-2.0		9	沢房	1.0		1
	2.0-4.0				2.0		
	<u>9</u>				<u>1</u>		
鬢皮	1.0-2.0		12	後の木	1.5		1
	1.8-4.8				2.5		
	<u>12</u>				<u>1</u>		
沢ふた	1.0-2.0		8	青木葉	1.0		1
	2.0-3.0				2.5		
	<u>8</u>				<u>1</u>		
合欖	1.0-1.5	4.0	8	こぶし	1.0		1
	1.6-3.0	3.0			1.7		
	<u>7</u>	<u>1</u>			<u>1</u>		
牛ころし	1.0		5	合計			22508
	1.7-4.0				(小苗木)		
	<u>5</u>				木品	本数	
茨	2.0-2.5	3.0	5	槻	1747		
	3.5-4.5	3.0-6.0		榎	3561		
	<u>3</u>	<u>2</u>		樅	31216		
槇	1.0-1.5		6	杣	453		
	1.7-2.2			松	27		
	<u>6</u>			栢	3872		
くるみ	1.0-1.5		3	檜	864		
	2.5			合計	41740		
	<u>3</u>						
たで	1.5-2.0		4	合木数 92130 本			
	2.0-2.7			但本木小苗木共			
	<u>4</u>						
菜萸	1.0		5				
	2.0-5.5						
	<u>5</u>						
山桃	1.0		3				
	1.7-2.5						
	<u>3</u>						
山ならし	1.0-1.5		3				
	1.7-2.0						
	<u>3</u>						
犬桐	1.0-2.0		5				
	2.0-4.0						
	<u>5</u>						
犬もち	1.0	3.0	2				
	2.0	8.0					
	<u>1</u>	<u>1</u>					

Summary

We analyzed a historical document from the Egawa family archive: a census of the Amagi shogunal forest dated 1811. The census covered a wide range of vegetation types, from warm temperate to cool temperate zones. There was no information on the area covered by the census, but we estimated that it covered at least 500 ha based on place names recorded in the document that were identified on a current map. The species composition in 1811 was very similar to that of the present natural forest in the Amagi Mountains. However, the estimated stand density was relatively thin (ca. 100/ha) in 1811, in comparison with that at present (ca. 500/ha). This was thought to result from the continuous use of smaller (<14.5 cm in diameter) trees for charcoal burning at that time. The regeneration of *Abies firma* was dominant, given such a sparse forest floor, and it dominated the canopy as an effect of the shogunate regulations. It is thought that *Fagus crenata* also regenerated under these conditions. Such human-induced forest conditions may have strongly influenced the establishment of the present natural forest.

Keywords : Edo era, artificial effect, charcoal burning, natural forest, regeneration